京城日報

七日夕刊

定價 本紙 一部金三錢
廣告料 ▲五號活字一行金拾五錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 谷口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

◎四川軍宣撫使を急派す

四川第一師及び第二師は該省士民を以て編成せしものにして北京政府に對する誠忠の念慮薄く戰機の熟するに連れて軍情動搖し北軍に對する反感昂まりつゝある故を以て政府は極力之を懷柔する必要あり胡慶惟は併て四川都督在職中聲望ありしより四川軍宣撫使に任じ二月一日北京を發し急遽同地に向はしめたり ＝某省著報＝（東京特電）

◎米獨關係と株式界恐慌

米獨國際關係不穩となり紐育株式界は恐慌に襲はれつゝあり（東京電報）

▲伯林の恐慌　倫敦電報に據ればアッバム號問題に就き米獨國間破裂說あり爲めに伯林は恐慌を呈しつゝあり（東京電報）

◎コルフ海峽の封鎖

巴里來電に曰く聯合國艦隊はコルフ海峽を封鎖したり（倫敦電報）

◎獨逸海軍提督の交迭

獨逸新聞紙上にて公式に發表せらるゝ所に據れば、レディーグル氏はインゲノール提督の後を襲ひて大西洋艦隊を統率しつゝあり（倫敦電報）

◎七日の兩議院

七日朝貴族院に於ては豫算總會を開會し上院政府間の妥協案たる政府は別に二千萬圓を豫備する事を條件とし原案全部を可決せり衆議院にては午後より豫算總會を開き製鐵所擴張案を附議せり（東京特電）

◎政情と新聞沈默

妥協成立の結果政府案全部無事上院を通過すると共に各新聞紙は一齊に沈默の狀態に陷り大隈首相亦豫日の危機を知らざるものゝ如く裝ふも議會閉會後内閣總辭職をなす可しと觀測する者あり（東京電報）

◎政友依然反對

政友會は妥協追加案に非募債主義を抛棄すと貴衆兩院にて武富藏相言明せるも國民負擔等より見て之に反對す可し（東京電報）

◎法王特使日光行

羅馬法王特使ペトレリー大司教は七日午前八時上野驛發特別列車にて日光に赴けり（東京電報）

◎紙價と新聞雜誌

紙價暴騰の結果各雜誌は四月より各新聞紙は六月より定價の値上げを決行すべしと（東京電報）

◎大仁丸急行 魁

大阪商船會社鏑木監督は救助船魁丸にて七日大仁丸遭難現場に急行せり（門司特電）

◎釋宗演師病氣

前圓覺寺管長釋宗演師は鎌倉に於て肺炎に罹され療養中なり（東京電報）

◎一月中の朝鮮貿易

貿易總額一千七十萬餘圓　輸移入超過額六十六萬餘圓

▲貿易總品價　本年一月の朝鮮貿易額は輸移出四百五十一萬九千餘圓、輸移入五百十八萬四千餘圓合計一千七十萬三千餘圓にて之を前年同月に比すれば輸移出は六十五萬餘圓輸移入は二百二十萬九千餘圓の何れも增進を示し、六十六萬四千餘圓の輸移入超過を見たり、

▲輸移出貿易　輸移出重要品は之を前年同月に比し（一）米の出荷三十八萬九千餘圓、人蔘十五萬二千餘圓を減退したるも（二）綿花は船腹の差繰付きし爲め滯貨六十二萬餘圓の移出あり、五十五萬二千餘圓を增進し（三）其他鑛產品に在りて金、銀、銅鑛及び染料等の移出增加の爲め結局合計に於て如上の計數を示したるものとす

▲輸移入貿易　次に輸移入重要品は財界の一般狀態昨冬以來漸く好況にして米、棉花、牛皮、鑛產品等出廻り增加に伴ひ鮮人の購買力に膨脹したる爲め（一）紡績絲、金巾類、木綿、絹織物等著しく增進し（二）食鹽、砂糖、小麥粉亦た數萬圓の增加を呈し（三）其他石油は二十萬餘圓を增加したるに依り諸器械、木材等幾分減退せるも合計に於ては百二十萬餘圓の增進を示せり

▲貿易主要品　今當月の輸移出入重要品及び其價額を前年同月と對比すれば左の如し

輸移出重要品	本年一月	前年同月
米	一、八六一、二六三	二、二五一、〇三六
大豆	四七七、五四四	四九三、四九六
其他豆類	一二、九〇七	一一、八三八
鮮魚	二五、六七八	二四、四一九
乾鰮魚	四二、〇〇三	二〇、九二〇
乾貝	四六、五七〇	二五、八一七
人蔘	一、五四八	一五三、五八六
棉花	六二一、四六三	六九、〇八二
繭	七二七	二、六二七
金鑛	八、八九七	二八、八〇八
銀鑛	三、三四六	
黑鉛	九、七二九	三、三七一
石炭	一七、四九六	三六、五〇五
牛皮	三一三、七一一	二六七、八二六
皮革製品	一七四	八
藁草	一〇、五〇八	一五、三九八
生牛	四一、二五七	二四、四六二
木材及板	八、三五三	一、五四五
肥料	六五、五一一	六八、四一六
其他諸品	九九二、六三五	三六九、六〇〇
總計	四、五一九、五二〇	三、八六八、七九〇

輸移入重要品（一萬圓以上）	本年一月	前年同月
小麥粉	六一、三六八	三八、七一五
食鹽	二九、三七〇	三三、三一九
果實類	一一〇、二四六	四五、六五三
鹽魚	四九、五三八	一九、八九三
砂糖	一五五、五七九	六八、七三三
清酒	五三、五四〇	四七、八二七
其他酒類	一〇、六一二	一〇、五四四
石油	三四五、九〇八	一四三、四七〇
綿類	五三、〇六六	二三、一一七
綿紡系	三二二、三〇四	一七〇、八三九
生金巾類	六三七、六九一	二七〇、〇八一
晒金巾類	四一四、九三一	一一一、四四四
天竺布	四四、六〇五	一五、三二四
綿繻子類	一一〇、六三三	一三、八〇八
日本木綿	一八六、一七六	六四、六八七
毛織物	二三、一五八	一〇、三七九
絹織物	二〇四、六〇六	四六、〇七九
靴及履物	二一、三八三	一二、八六四
紙類	五一、八一七	九五、三二八
諸文具	三九、四三八	二三、六三三
書籍	一四、七八一	一二、五〇三
鐵線	五二、四〇六	四七、一四六
諸機械	五、四六二	一五三、三二四
煙草	三一、四一九	一八、九四五
石炭	一一七、〇八八	一四七、四六八
陶磁器	三〇、六五七	一八、〇八五
木材及板	三三、四八七	九八、八一二
セメント類	二六、一二五	三二、二二八
叺繩莚	八二、八〇九	一〇〇、八八三
木製品	八九、三六六	一六、六二〇
洋傘	一五、六五〇	一〇、一二三
爆發物	四八、〇九〇	九、五八七
小包郵便物	三二七、二〇三	二九三、七四六
其他諸品	一、二九〇、二八九	七一〇、七四二
總計	五、一八四、三八一	二、九七四、九九七

▲金貨及び金地金　尙ほ當月中の金銀貨及び金銀地金は輸移出合計百六萬四千四百三十九圓にして輸移入額は金銀貨並に金銀地金を合し百十四萬九千四百二十圓なり

◎御菓子御下賜

故高子爵邸喪中御見舞

故子爵高永喜嗣子李王職事務官高義敬氏に對し喪中御見舞として天皇皇后兩陛下より御菓子一折を御下賜あらせられ六日午前十一時藤波通譯官之れを傳達したり

◎一部長會同（第六日）

各道第一部長會同は五日を以て終了の筈なりしも諮問事項に豫定以上の日時を要したるより七日も引續き午前十時より總督府第二會議室に會同、寺內總督、山縣政務總監以下關係各部長官、局長、課長等出席し事務の打合せあり午後三時散會せり

◎一部長招待宴

弓削、大塚、澤田三課長の發起に係る第一部長招待宴は六日午後六時半より花月に開會、出席者は各部長官局長課長商等官等合計七十餘名に達し盛會裡に十時散會したり

◎野田副總裁工場參觀

野田東拓副總裁は七日午前工業傳習所を訪問し豐永博士の案內にて場內を參觀する處ありたり

◎安達公使著京

露太公殿下接伴員として朝鮮滿洲を往復せし安達特命全權公使は六日無事東京に歸著せりと

◎京城稅關改正價格

來る十六日より實施さる可き京城稅關鑑定改正價格左の如し

大豆一石（上）六圓九錢（中）五圓七十六錢（下）五圓二十四錢
小豆一石（上）七圓二十錢（中）六圓九十錢（下）六圓四十四錢
小麥一石（上）七圓二十錢（中）七圓（下）六圓八十二錢
荏子百斤五圓三十七錢
牛皮（上）乾皮特百斤五十二圓二十錢（並）乾皮百斤四十圓

◎壹岐丸引返し

六日午前釜山港を出帆せし連絡船壹岐丸は風浪のため八時四十分釜山に引返せり

元山

▲耕牛移出開始　北鮮產牛の海路浦鹽輸出は一時旺盛を極めしも歐洲戰亂の影響其他の原因に依り中絕を見るに至れるが耕牛として內地への輸出は昨年末より兩三回行はれ本年に入りて價格騰貴其他の關係上之れ亦中絕の姿なりしも二月五日廣島行き耕牛二十四頭の移出ありたり、尙ほ今後は咸南奧地に出張買ひ出しを爲し移出を繼續する由

▲一月の金融狀況　一月中に於ける元山地方の金融狀況を聞くに明太は氣溫の關係上例年に比し著しく漁期後れ荷多に於ては近年稀なる不況を歎せしが本年に入り本場新浦方面の漁獲盛期に入り連日好況を呈して當初よりの漁獲高六萬五千駄を算するに至れり然るに氣候溫暖の爲乾燥不充分にて回著甚だ遲緩なりしが一方南鮮方面よりの買注文頻々として至り相場は一時二十七圓と言ふ未曾有の高値を唱へ一順舊正月用品の行き渉りたる爲漸次相場の況を呈し他面米豆は相場の不況に因り引戾を見たるも近年稀れなる出荷盛り庫入れ幾分增加し金融は此の方面に聊か小緊の氣味なりしも大豆は內地市場滿腹の姿にて買注文頓に杜絕し移出一寸一服の有樣にて出廻り著しく減少し同品に對する奧日の放資は逐次回收勝となりたるを以て金融は大體に於て小康の姿にて經過し月末に至り舊正月用綿布雜貨類の荷動き一段落と共に金融小緩を呈して越月せり

全州

▲太平なる舊正月　四日は陰曆の正月元旦にして朝來風なく薄靄の花時に似たる小春日和とて白衣の鮮人は何れも衣冠正しき晴れの裝を凝らし三々五々往き交ふ禮者多くして絕えて巷に物を鬻ぎ業を執るものなく鮮童の多くは嬉々として彼所此所に種々の遊戲に耽る等實に太平の享樂を謳歌せるものゝ如く支那商賈は此の日何れも業を休み軒頭五色の中國旗を掲げて新春を祝したり

▲記念田協議　御大典記念事業の一たる全州記念田設定に關しては昨秋以來委員を設けて調査考究中なるが來る十四日公會堂に於て委員及び全州俱樂部員會合の上之れが具體的方法に付き協議する筈なり

▲山口法務課長の去來　去る一日來全州支廳事務及び道、郡、面事務等の視察を爲し四日午後二時過ぎ自動車にて井邑に向へり

木浦

▲先月の金融　船腹不足の爲め多大の停滯を來しつゝありし繰綿は本月に入りて數次臨時船の入津あり加ふるに春來米況益々非にして阪地に於ける鮮米の荷閊へ甚だ數きため移出米は一頓挫を來し船腹一體に餘裕を生ずるに至りしを以て繰綿の積取は意外に捗取り月末の在荷は一千梱內外に減少し且つ奧地よりの出廻りも最早終期に近きたるを以て棉花に對する新規貸金の需要は頗る減退を告げて回收一方となり是に對する放出金は十二月末に於て五十九萬七千餘圓の殘高を示したるもの當月末には四十二萬六千餘圓に減少したり而して一方米穀の取組減退し地場手持品は倉閊ひ此方面資金の需要も商狀の不況に連れ移動も不活潑なるを免れず只舊年末に近づき金巾類を初め鮮人向諸雜貨の賣行稍良好にして移入商側の金繰幾分頻繁に見受けられたるも大勢に影響なく金融は概して閑散裡に經過せり越月後は直ちに舊正月にて且つ棉花の出廻りも稍た緩慢なるべきを以て金融は一入閑散を告ぐべき見込なり

▲府豫算編製　木浦府豫算は既報の通り橋本府尹轄地擬製中なるを以て未だ編製するに至らざれども概要調查は夙に完了し居るを以て府尹の歸任次第之を表示し直に府協議會員の內協議會を開き改めて協議會の議に附することゝなるべく遲くとも本月內には其の完了を見るべしと

釜山

▲下端間輕鐵企劃　洛東江と釜山との運輸連絡を計るため釜山下端間に輕鐵敷設の議唱道され釜山の大池香椎氏等は熱心に調查中なるが過般も香椎氏は若松府尹と同伴實地を踏查せし所工事費は總額十五萬圓にて充分なる見込にて頗る有望なる由

▲高女十週年記念會　釜山高等女學校は明治三十九年民團經營當初より起算する時は本年三月末日を以て滿十箇年に相當するを以て四月上旬祝賀會を開き生徒作品展覽會を開き併せて大講演會を催すと

▲三浪津果樹講習會　三浪津に於て開きたる久米技師の果樹栽培法講話は三日より二日間に亘り聽講者六十餘名にて盛會なりき

平昌

▲稻大豆精選種子審查　江原道平昌郡に於ては一昨年以來總督府の勸業方針に基き稻種子の穗選大豆種子の粒選を極力獎勵の結果漸次品位の向上と收量の增加を見るが如き好況を呈するに至れるが尙ほ今後一層普及の實蹟を舉ぐる目的を以て去る一月廿四日五日の二日間是等精選種子の審查會を開催せり其の出品數は稻作戶數三千二十八戶の內一千二十六戶に於て一千三百五十四點の精選種子を出品し、又大豆作戶數八千三百六十七戶の內三千八十五戶は二千百五十七點の粒選大豆を出品するに至れり此の總出品數三千四百二十四點の內より優良品種九百七十二點を選拔して一等より五等迄に區別し賞狀賞品を授與せり右褒賞の授與式は同廿五日會場前庭に於て擧行し審查長江原道農業技手三船善吉氏の審查報告あり則ち各出品物の批評及び業者に對し種法改善に關する注意を促し、次で李道長官代理平昌郡守曹義民氏の式辭事務長大塚郡書記の事務報告及び隣郡寧越郡守郡參事其他の祝辭及び出品人總代の答辭等ありて式を了す因に此審查會中は晝夜の別なく兩三日間二千四百餘名に及び鮮人の土地としては非常なる盛會なりし

人事消息

▲村井太吉郎氏（步兵第六十九聯隊長）　六日朝內地より釜山著直ちに平壤へ
▲中澤中尉（所澤航空隊附）　五日夕釜山上陸六日午前奉天へ
▲川上中尉（同上）　同上
▲望月龍藏氏（釜山中央血清所長）　內地より六日歸任
▲塚越殘三氏（釜山郵便局長）　六日內地より歸任
▲井口軍司令官　六日歸任の筈なりしも行程變更の爲め八日午前八時歸任
▲八島軍醫監　六日龍山發奉天へ直行
▲阿久津京奉鐵道技師長（故諸田氏後任）　七日朝南大門通過奉天直行
▲若見少將（補從武官）　來る十一日入京の筈
▲スタール博士（シカゴ大學教授）　六日午後五時二十二分南大門著元山より露京瑠璃洞旅館へ

◎滿鐵營業狀態

滿鐵會社の營業狀態につき同社調查課長川村鉚次郎氏の語る所に據れば滿鐵の營業は創業時代より漸次順調に進み來れるも鐵道收入を除き他の事業は大體において何れも損失を免かれず地方事業は滿鐵附屬地の教育衛生及び土木等を經營せるものにて之れに對する賦課金を徵收し居ると雖も固より營業的にあらざれば年々之に要する

▲支出輕少ならず　採炭事業といひ築港事業といひ病院、學校、ホテル及び電氣瓦斯事業といひ滿鐵が國家の爲に若くは其の地方の發達繁榮の爲に貢獻の意味にて爲しつゝあるものなれば利益を唯一の標的として行ひ難し鐵道收入と雖も常に多分の收益あるにあらず大正三年度と同四年度とを比較する時は漸次減退の傾向あり夫れにも拘らず滿鐵は政府に對し株配當の意味を以て每年二百五十萬圓を貢納し株主よりは絕えず配當金增額を迫られ居る始末なれば進んで新規事業を行はんには

▲新に社債を起す　か未拂込株の拂込をなさしむるか別途に何等かの資金融通策を講ずるの外なし政府配當金二百五十萬圓を廢止すること得ば滿鐵に取り否滿蒙開發に取り之れに過ぎたる事なく滿蒙開發の爲には滿鐵は各方面に種々の調査を重ね居れば此の資金を以て優に新事業を興起せしむるを得べし世人往々滿鐵の昨今を目して消極主義の引込思案のと評するも營業狀態にして前項の如くなる以上如何にしても整理節約を旨とせざるを得ず滿鐵は年々約百四五十萬圓を雜費として支出し居れるが差當り

▲此の雜費を節減し　無益の支出を濫控ふることに努めざるべからずと此の滿鐵營業狀態の說明は一面滿鐵昨今の狀態を語るものとして注意の價値あるべし（大連）

◎滿洲警務刷新

日支新條約實施に伴ふ日支新條約は南滿洲における日本人の居住、營業、旅行の自由を認むると共に支那側に課稅及び警察の權を讓歩したるが滿洲の支那警察力は最も不完備にして馬賊の勦滅は勿論些々たる小盜の取締さへ充分ならず衛生其他の事に就ては殆ど無能に近き狀態なれば支那の警察を充分改善せしむるか日本において便宜之を補足するか何れか良法を講ぜざれば日支新條約の利權を滿蒙に實現せんこと得て望むべからず支那官憲も此點は承知し居る所にして從來北京中央政府と交涉の上警察改善の上に種々の計畫を立てられて其實行今に至るも捗々しからず、然るに今回奉天警察處は在鐵嶺警務署に我が上田警視を傭聘して總教習兼顧問となし外に我が警部數名を雇傭し陰曆二月初旬より警察學校を開始し差當り省城警察廳勤務の警吏を養成し漸次歩を進めて安東、長春、遼源等にも警察學校を設くることに決したるが是れ近來になき好計畫といふべく吉林巡按使の如きも北京內務部に稟申し東三省警察大學を設置すべしと主張し居る有樣なれば今回こそは警務刷新の上に一步を進むる事となるべく右につき我が警察においても出來得る限り援助を辭せざる筈也（大連）

◎奉天より

▲本鄉師團長來去　來奉中の本鄉遼陽師團長は四日夜金城館に奉天在住官民四十餘名を招き五日午前十時將軍署に段上將軍を訪ひ午後三時三十二分發列車にて歸遼せしが驛には段上將軍、汪湖官長、陶通譯等及び日本文武官民多數見送れり

▲コ極東局長通過　露太公隨員として赴日せし極東局長コザコフ氏は歸途當地にて分れ北京に赴き居りしが五日夜當地通過長春線にて哈爾賓に赴けり

▲黑龍新金鑛發見　庫碼河即ち有名なる庫碼術金礦所在地の上流虎山と云へる所に新金鑛一箇所を發見せるが礦量豐富にして頗る有望なりと

▲革黨大檢擧準備　段將軍は最近有力なる革命黨人趙重古李昌椿外數名を買收し東三省に入込める黨員の姓名住所を自白せしめしかば目下奉天省內を初め吉林及び黑龍江省に移牒して一網に打盡せんとし密かに準備中なり

生徒募集

本年四月入學セシムヘキ本科第一學年及同第三學年生徒若干名募集ス
大正五年二月五日
京城公立高等女學校

入學志願者心得要項
一、本科第一學年ニ入學セシムヘキモノハ本年四月一日ニ於テ年齡滿拾貳歲以上ニ達シ尋常小學校卒業シタルモノ或ハ本年三月末卒業スヘキモノタルヲ要ス
二、右入學志願者數募集人員ニ超過スルトキハ選拔試驗ヲ行フ其學科目及程度左ノ如シ
國語、算術、日本歷史及地理、理科。裁縫
三、第三學年ニ入學セシムヘキモノハ相當年齡ニ達シ本校第二學年修了程度ニヨリ左ノ學科目ニヨリ試驗ヲ行ヒ之レニ合格シタルモノ、中ヨリ選拔ス
修身、國語、算術、日本歷史、地理（日本、亞細亞、歐羅巴）理科（動物、植物、鑛物、生理衛生）裁縫
四、入學志願者ハ左ノ書類ヲ來ル三月二日マテニ本校ニ到著スル樣差出スヘシ
入學願書、履歷書（以上本校學則ニ依リ認ムヘシ）
戶籍謄本（大正五年一月以後ニ調製セルモノニ限ル）
學業成績證明書（小學校在學者ハ本年度第一學期、其他ハ最近ノ學業成績書）或ハ修業見込ニツキ當該學校長ノ證明セルモノ
五、選拔試驗ハ三月八日第三學年入學志願者ニ對シ同十一日、十二日第一學年入學志願者ニ對シ行フ志願者ハ左記物品携帶シ午前九時マテニ本校ニ出頭シ係員ノ指揮ヲ俟ツヘシ
半紙、筆、墨、硯、鉛筆、小刀、辨當
六、第一學年選拔試驗日割左ノ如シ
三月十一日 國語、日本歷史及地理
三月十二日 算術、理科、裁縫、身體檢查
注意 トラホーム患者其他傳染性疾患アル者ハ入學ヲ許可セサルコトアルヘシ

商業登記公告

一、支配人解任 主人株式會社漢湖農工銀行ハ大正五年壹月貳拾八日株式會社漢湖農工銀行春川支店支配人小山七郎ヲ解任シタリ
一、支配人選任 主人氏名住所 京城府南大門通リ貳丁目百ノ四拾番地 株式會社漢湖農工銀行 支配人氏名住所 江原道春川郡春川面大板里 中村孝嗣 支配人ヲ置キタル場所 江原道春川郡春川面 株式會社漢湖農工銀行春川支店
右大正五年貳月四日登記
京城地方法院 春川支廳

生徒募集

本校本科技藝科併設普通學校各學年補缺生徒ヲ募集ス 入學願書三月二十五日迄。規則書及詳細ハ本校ニ照會アレ
京城府壽松洞
財團法人 淑明女子高等普通學校

廣告の爲 十錢迄金の方へ貴有益の草花各五種宛十袋分を提供仕候

大邱幸町郵便局前
輕便御宿 高等下宿
東洋館
電話五四五番

●關釜海峽突破か
朝鮮の着陸地點研究

二月十四日より滿洲奉天にて擧行する陸軍飛行演習に參加する某步兵中尉は五日夕釜山上陸往訪の記者に語つて曰く

本月十四日より奉天を中心として曾田大佐指揮の下に約一週間擧行する飛行演習に參加する將校は岡大尉、澤田、伊庭、川上、坂本中尉の各中尉の六人で比較的經驗を多く有する者許選ばれた譯で、**飛行機**はモ**式三臺**の外に**新製**のカーチス**百馬力**と合せて四機は既に演習地に著荷して居る筈です私は同伴の參加將校と共に最後に出立し途上**下**の**關釜山**及び其他各地の**地形、著陸地點**、氣壓等を調査しつゝ逐次奉天に向ふ事になつて居ます勿論之れは未定の事であるが將來**下**の**關**より**壹岐對馬**を**經**て**朝鮮**に又滿洲に飛行せんとする下準備に四日夜から此の釜山を調査せんと苦心しましたが合憎く此の大降雨で何とも致方がないが併し此の分では何時晴れるとも分らぬので遺憾ながら北行し大邱龍山を一寸調べて直行奉天に向ふ考へです

▲大飛行演習の目的

今回演習の主眼とする所は滿洲の地勢と氣壓關係と又一面には飛行機の生命たる原動力のガソリン瓦斯及び機械油の凍凝程度を試驗するので當局では**最も重要視**して居られる樣です、以前から斯界で研究されつゝあるは此の機油とガソリン瓦斯の積載方法で何しろ一時間何十里と云ふ長距離を空走するにありますから機軸の回轉度數は激甚なもので從つて之れが發熱を防ぐ機械油を一時間八斗の多量を要する次第で少し長距離を飛行する時は恐くべき消費量となります、依つて此の機械油を鹹備するには重量の關係上尠なからぬ頭腦を痛めます此れさへ思ふ存分に積載されたら長時間の飛行は容易の事であると思ふ、殊に戰時の場合には機關銃の据付け**爆彈**の**投下、報告書作製**及び寫眞撮影等の諸要務があるために是非二人以上搭乘する必要あり從つて積載油量を減少する故に前陣の如く飛行時間に影響を來すので各國共此の事に關しては非常に研究されつゝあります

▲軍用飛行機の進步

私は所澤を第二期に卒業して今年で丁度滿四箇年間日曜を除く外每日之れに携はつて居るが最初から考ふれば器機の改善、**搭乘者の修練**は驚くべき長足の進步を來したる趨勢に鑑みれば今後幾何もなく器の完成を遂げらるゝものと察せられ從つて今後に於ては不幸なる犧牲者を出す事は絕對に無からうと信じます、御承知の如く飛行者に取つては風向きの急變及び速度の激增、險惡なる霧靄等が最も恐るべきもので豫め充分なる調査を行ふておても實際に至ると周章狼狽する事が屢々起つて來ます普通地上三百米突以上六百米突の空間を以て最好高度と定めてありますが**氣壓は地上を距る百米突乃至二百米突每に劃然と層を成して**其の密度を異にして居りますから其の中風速の最も弱い空層を選ぶために時々高低しては之れが調査を行ふ譯であります今迄經驗した**長距離飛行**は昨年の所澤高田間と所澤弘前間との橫斷であるが所澤高田間の飛行當時は碓氷峠に懸かると折惡しく榛名、妙義の高嶺を斷續してゐた雲霧が急に風と共に擴がつたため少なからぬ苦心をしたが所澤弘前間を飛行した時は風靜かに天氣晴朗一點の雲影なく眞に理想的飛行日和であつた故地上二千百米突即ち約半里の高空を飛航しつゝ片手に把手を握り時々片手にてポケツトより菓子林檎等を出して噛りながら**僅か七時間で東京から奧州の果**に一足飛をした快感は到底忘るゝ事が出來ません

▲國民の後援

天候快晴にして風靜かなる日に何等の懸念もなく蝴蝶の如く翩々と舞ひ行きつゝ下界を瞰下する際は殆ど天人に化したるかの感がありますが一度背後に響く强きプロペラの音調に變異を呈するを聞きその瞬間に既に故障の突發を知覺し臨機の所置を取る迄の一瞬秒時の緊張した氣分も又到底他の想像の及ばぬところです飛行者に絕えず目と耳の機敏なる活用が必要で**プラペラの音響を耳で早く判測する事さへ出來得れば危險は絕對にない**と云ふも過言ではありません國民一般よりは危險であらう心配であらうと非常に同情と敬意とを寄けて居る事は甚だ忝ない次第ですが地上から見られる程危險な恐しいものでもなく其程心勞困憊するものではありません昨冬はナイルス氏が來京して其妙技を發揮しましたが實に感服の外はありません其れ等の妙術は軍事上何等の必要と價値がないとて嚴禁されてあります云々（釜山支局）

●朝鮮銀行券僞造犯人
十四名の檢擧
釜山地方法院檢事局の活動
根據を下關に置き徒黨十數名

昨年八月頃釜山に於て一名の鮮人が朝鮮銀行券僞造紙幣を行使したるを釜山署に於て檢擧したるに端緒を得て僞造紙幣の出所に就き嚴探中の處事件は愈々擴大し釜山地方法院檢事局にては是が大檢擧に努めたる結果意外の犯人を檢擧するに至れるが事件は豫審に屬するを以て事實の詳細は不明なるも大正三年冬頃下關市に根據を置き一味結黨十數名密議の上多額の資本金を投じ巧妙なる方法を以て數千枚を僞造し或一部の徒輩は其幾部分を携帶して渡鮮し釜山及び馬山地方にて行使したるものにて釜山檢事局にては其後著々僞造者及び行使者を拘引したるも主謀犯人たる岡山市生れの畫工淺沼鶴太郎（四六）は巧に姿を晦まし逃亡し居れるを此程長崎市に於て逮捕し押送し來れるが同人の逮捕に依り殆ど犯人全部を引致したるもの、如く目下釜山地方法院に於て豫審取調中の由にて何れ其終結を待ち[illegible]に檢擧されたる犯人は左記十四名なりと

▲岡山市生れ淺沼鶴太郎（四六）▲山口縣生れ松原政助（三二）▲同村元満助（二二）▲同木村叛次郎（五二）▲同山本こと（二八）▲福岡縣生れ村上萬次郎（三五）▲同梶崎たつ（四八）▲山口縣生れ小田田國三郎（三七）同藤原米吉（三二）▲同吉岡花吉（五六）▲同田村太作（三九）▲京都市生れ淺沼朝治（四〇）▲釜山生れ中大文（二九）▲同串敬德（三八）

●東京雪降る

七日朝來降雪霏々として積む事既に數寸に及べり（東京電報）

不思議の墨西哥
安達公使の談
市街戰で交通杜絕…兌換券亂發…日本人が悦ぶ…敵も味方も日本人は保護す

是れ後にも話さうが第一に人種が近いと云ふ感念が一般國民に浸透してゐるからだと思ふ。連日の市街戰で市中は勿論墨都と地方との交通は杜絕し隨つて

▽郵便＝物は來ず電信通信も出來ず米國からの送金は無し一方物價はドシ／＼騰貴するしペソ（普通ならば我約九十九錢餘）は下落する許りか正貨は影を潛めて兌換券が亂發されるが其れは何等の値ひをもしない無財産無信用な政府の兌換券よりは却つて個人の署名した紙片の方が遙に價があると云ふ譯で予の如きも名刺にサインして「金百ペソ」とか云ふ調子のものを幾枚書いたか知れない殊に興味のある事は政府の兌換券よりはシネマ（活動寫眞）の

▽紙幣＝の方が物を持てる丈け尊重されると云ふ仕末であつた憫麼調子で最も激かつたのは三十八日間と云ふもの一切の交通郵電信杜絕し日本公館宛の書留四十幾通と云ふものは總て米國へ逆送されて後で失れと知つて受取つた事であつたが其困難は實際一通りや二通りではなかつた予は其間にも日本帝國の威信を墜さない樣にと心掛そうするには差當り惡國人に少しでも顏を知らして置くに限ると思つて戰爭の相間々々には日章旗を掲げた自動車を驅つて市中や

▽郊外＝を廻つたもす（ママ）と市民は自動車の後を追ひ或は前に立ち塞がつて自動車を停め「お前は日本人か、ア、公使か。一寸之にサインしてくれ。俺には名刺をくれ」などと好意を示す怎麼田舍に行つても普通の有閑を著てゐても墨國人はすぐに日本人だと見分けて大に歡待もし、遠くからヤルマナー（兄弟）などと聲を掛けられる事が幾度かあつた實に日本を懷しがつてる國民である日本公使換言すれば日本帝國の墨國に於ける特殊の地位は

▽戰爭＝の起因は素より一度は墨國の秘密の紛擾を醸す許りか輓近に言へば各派の首領、各派の兵士乃至一般人民の對日感情は截然他國と區分せられてゐた即ち歐洲戰爭勃發以來列强が到底權威を墨國に割く事の出來ない事を推して斷然退放せられたのは英、白、西、伯、瓦（グアテマラ）其他の諸公使であつたが獨り日本の公使に對しては只管に好意を表してゐた是れ右言ふ如く各派の首領、兵士乃至一般人民の對日

▽感情＝の根底に存するが其原因は或は必要に應じて軍艦出雲などを急派する事も出來る力もあつたらうが根柢に於ては人種相近く他の列强國民は總て墨國人に對し異色人種として低く見る傾があつたのに反して日本人は相似人種である許りか決して見下す樣な素振に出でなかつたからであつた（つゞく）

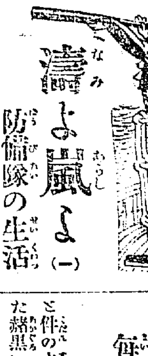
動物園顏づくし
◇河馬

昨年子供を産みました時は、京城中からヤンヤと云ふ、お讃めに預りました、お陰で子供も斯の樣に大きくなりました、誠に光陰は矢の如しさやら私も、昌慶宮秘苑へ來て皆樣とお馴染となつてからモウ足掛五年になります、生れ故郷のニル河で捕かまつてそれから國遠へ連れて行かれてから彼此れ十年にもなりますが、此方の御厄介になつて居るお陰であ、歐洲の大戰亂も河向ふの火事と同樣、天下泰平でございます、そんな大な體を水槽の中にばかりスツ込んで居るのは不自由だらうてんですが、如何にも仰言る通りで、私も故郷のニル河に棲んで居た頃にはこれでも一日何百哩さいふ細泳ぎ出て夜になれば河から忍び出ては隨分甲斐のお百姓を泣かしたものですよ何んですつて、お前の御は隨分幾許だつて御挨拶で恐入りましたれ、これは御代々のお譲りで、貴方がたの眼から見れば隨分お可笑な事でも私共の仲間では之れでも美男子もあれば別嬪もあるんです然れとやらは私の子供なんぞ私の體はかりでちやない隨分立派に大きく出來ますぜ。私の體重ですか近來運動不足の爲めに四百八十貫ばかりでせう、ナニそれからお孃樣十六貫の三十倍だつてまことに恐れ入りました

●仁川海戰記念祭

仁川大神宮にては來る二月九日午前十一時より仁川府主催の下に海戰記念祭を擧行する由なるが例年の如く奉告祭を行ひ府尹府協議員府吏員氏子總代其他一般多數の參詣者あるべし

◉薫風會 [illegible]日より十四日まで每夜午後七時より拔心流[illegible]諸田老師の[illegible]外と[illegible]

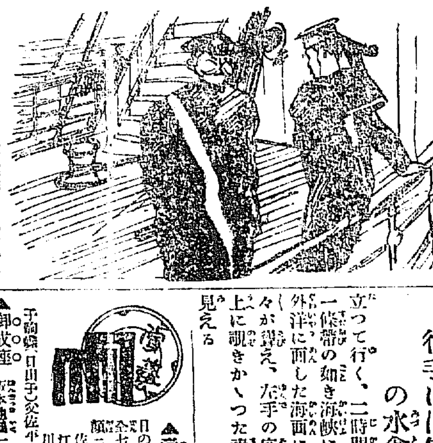


濤よ風よ（一）
防備隊の生活

□東へ！東へ！

鷗の群を分けて永興灣を縱斷！

『永興から元山まで二十五里海、鎭興場行きのお客さんありませんかア！！船が出ますよウ！！』元山灣の水は深碧に澄むで白い鷗の飛び立つ沖合には遙に遠き[illegible]夕々が聳え、左手の空にはまた船の舳上に覗きかゝつた素敵に高い草山が見える



東西二十哩に亙る永興灣を

永興灣の入口と、虎島岬が見える。毎日午前の十時に元山埠頭を離れて縱斷するわが永興丸は、黑い煤煙を[illegible]外洋に面した海面には高き虎島の山立つて行く、二時間許りの後、船は一條帶の如き海峽に入る。右の方、

空に漲らせながら、船首を東へ東へと進める、船室の裡には金筋の鮮人判任官から內地人の商人さては此の邊の市場々々を廻る鮮人行商人の石油箱を背に背負つたのもある。其處へ帽子に『永興灣防備隊』の金文字を記した海軍水兵が、胸には水兵小刀の紐を意氣に垂れて、肩の中著襟をば、長徳山處にヒラ／＼させるのも氣持が好い。『船長、第六震天丸が休航ちよる間あ、

每度ボートの御厄介だなあ』

と件の水兵が口を切ると、船長はまた赭黑い顏を莞爾々々させて『何んの／＼、些つとも遠慮は要らんことちや、今日も葬んで來たのか、ハツハツハ！！若い間の事ちや、飲むも好エさ。』と見れば、葛麻、虎島の兩岬角に擁かれた永興灣の灣口には、大新島、小薪島、麗島、高島、松島、砂島、萱島なんどの島々が青螺點々紺碧の水に影をひたして、船の

行手には無數の水禽が飛び

▲壽座○○ 木村清巖一行八日の替りは一番目百姓の[illegible]全七幕二番目新劇女の[illegible]題二場にて主なる役割如左 佐吉父[illegible]原（河内）文子[illegible]江（春日）下女お松（若柳）川岸信行（貴田）令孃あや子駒操（日出子）父佐平小野才助（木村）

▲御成座○○○ 阪木鶴團一座八日の替り狂言は前後山故郷錦[illegible]我物語二度の數段にて役割左の如し

局岩照（海老松）召使お初（仙太郎）左摸（瓜助）中老尾上（蔚弦）大月源藏、仁田四郎（利一）奴島、亀朝荒巻彌生、五郎（島廻）

▲壽館○○ 關西、九州地方を荒らし廻りたる稀代の怪賊にて恩赦を受けて出獄せる石井[illegible]が實演する[illegible]なるもの來る十日より壽館にて懺悔談を爲す由

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士 從五位 堀池常作
事務所 大邱府南龍岡町

■土地家屋 不動産競賣廣告
▲第一場所 京城南大門通三丁目一〇三番地
▲其坪數 土地三十二坪建坪煉瓦三階建約八十坪
▲第二場所 京城南大門通四丁目五十四番地
▲其坪數 土地九十四坪建坪煉瓦二階建約百七十坪
▲日時 來る二月十五日午前十時より同十二時迄
▲入札場所 中華民國華商總會
▲保證金 見積金額百分ノ五
右之土地建物共今般競爭入札を以て賣却致し候間御希望の御方は御一覽の上前記の日時に御來駕被下度願上候也
京城南大門通四丁目五十四番地 王受益

地方事務員募集
本社の事業は地方人を救濟指導する新事業にて有望且つ利益あり◉事務員は專務又は餘暇を以て自宅に於て執務し得て相等月收あり年齡十五歲以上希望者はハガキにて至急申込あれ本社は各人の利益幸福を謀り失敗を救はんとす我社の規定案內書を見よ然らば失敗と後悔はなし◉大阪市西區江戶堀下通四丁目大阪實業通信社

内外各種ブラシ製造原毛販賣
龍山漢江通八番地
Ⓢ 岩宮商會
電話一一四番

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百參拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

世界無比 白馬ウヰスキー

■勿見落 ■給はれ味噌を特別
今般弊店事其品質の聲價を知らん人なき［こ］はまれ味噌を特約販賣仕候處目下原料騰貴の爲勢ひ顧客樣に對し從來の値段にては遺憾ながら自然需用を滿す能はざるは素よりの處…然るに弊店にては此期に當り平素の御得意樣の深き御同情に報ひん爲奮勵勉强を量目に注意を拂ひ從來の値段より一層安價に提供仕るべく候間陸續御用命あらん事を偏に奉願候
■一貫目 七
■五貫目以上特に御相談
▲御用命の際は必ず電話二四六を御忘れない樣に御願ひます
新龍山漢江通郵便局前
味噌醬油清酒 御商 内田龍山支店
電話二四六振替京城一九二四番

賛化病院 京城本町二丁目 電話二四一番
入院隨意 普通病室並隔離病室
院長 醫學博士 古城憲治
尿、便、血液、喀痰等臨床的檢査の依賴に應ず（每日五名を限り無料施療す）

天氣 くもり
▲二月八日 少雨雪後曇

	仁川	釜山
滿潮	午前[illegible] 午後[illegible]	午前[illegible] 午後[illegible]

◯日出 七時四分 ◯日沒 六時十二分

●解警戒（七日午前十時卅分發）南部の警戒を解く

寶在、中野俊次郎、松永正[illegible] 三等一三五名

●東繼船上陸者[illegible]日朝[illegible]山

し航を取消したり從つて本朝南大門着急行列車に不接續なり

大邱の寒稽古 大邱館武會[illegible]授與したる外優勝者にはそれ／＼賞品を與へ式後小倉會長の訓示、出張の[illegible]たきより盛會致せる白[illegible]にては六日午時八時より寒稽古納會[illegible]

[illegible]德山面[illegible]里楊應林（三六）は一月十四日夜より十五日に亙り同里居住の[illegible]の山道にて應林は携へ持ちたる大斧を以て柄玉に斬付け頭部に五箇所の重傷を負はして即死せしめて逃走し[illegible]

…に銘刀兼命九一口柔道部の師範川野游次郎氏に短刀一口を精勤賞として…

●山中で斬付く 成南咸興郡…賭博をなす爲め同行中德山面興慶里…

●曹宗萊修行…

●職工の奪ひ合ひ
勞働者賣切れ＝戰爭のお蔭

軍需品の註文など歐洲戰爭から受けた影響ばかりでもないが去年の秋頃から今年へかけて大阪の下級勞働社會は莫迦に景氣が良くて勞働者拂底の叫びを至るところに聞き各會社工場とも

職工募集に困難

を感じて居るのみか爭奪戰が始まつてゐるのである、試みに現在大阪で男女職工三千人以上を使用してゐる大阪工場を擧げると

大阪砲兵工廠	一一、九六五人
大阪造幣局	四、六八一
鐘紡大阪支店	三、一六三
大阪鐵工所	一〇、五二七
日本紡績	三、二八九
毛斯綸紡織	三、三〇四
東洋四貫島工場	三、三〇〇
尾紡伊守工場	三、一二八
攝津紡績	三、一三三

先づ右の通りであるが此の中露國其他から

軍需品の注文を

受けた結果直接の大影響を受けて職工の增員をなしたのは砲兵工廠である砲兵工廠では目下一萬二千近くの職工が晝夜兼行で其の任に當つてゐるが其れにも拘らず尚職工の不足を感じ昨今では體格の良い者であればどしどし採用してゐる大阪鐵工所の如きも從來は櫻島分工場を合して六千人足らずだつたのが莫大の船の注文の爲め去年の

暮から大募集を

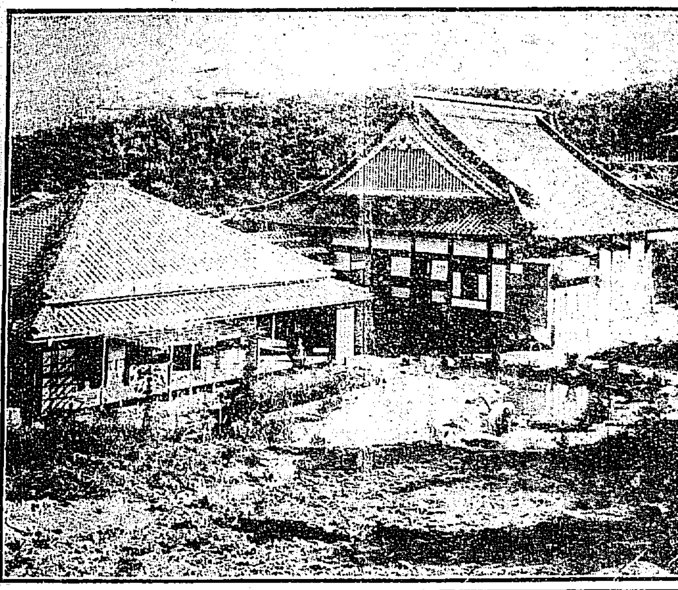
始めて當時は經驗なしの者は一切不採用であつたのに此の頃は素人でも一人前の給料を出して採用して居るが其れでも職人がないから今度は各鐵工所へ手を廻して職工の誘惑を試みてゐる、又紡績會社は昨年の夏頃までは操業の短縮だとか云うて職工を無暗と減じたものが昨今は大に不足と來て四國から

九州地方にかけ

て女工の大募集をしてゐる始めは大阪の各紡績會社が女工一人の募集費が平均六圓位だつたのが昨今は十圓乃至十三圓を出しても無いさうである此の外に莫大小職でも露國方面へ輸出する製作品に追はれ職人さへあれば金は何程でも湧いて來るが悲しいことには肝腎の職人が不足と來てゐるので製造業者は大に困つてゐるさうである斯樣具合で昨今の大阪は

何れの會社工場

も職工の爭奪に就いて大に腐心し、素人でも鐵工所か工廠へ行けば始から五十錢から六十錢位は出して呉れるだから下級の勞働者界は非常な好景氣で今では市内に最早や失業者は皆無と云うて可いさうである（大阪支店）


元山の法秀寺

●元山市後の新禪房
暑中休暇には衲がこゝへ御坐れ

風光絹の如き元山市街の背後、永興灣の全景を一眸の下に收め得らるゝ金比羅山の丘陵は目下

■御大典記念事業として元山市民の公園にしようと協議されつゝある。然るに此の丘と相呼應した樅陵の谷合には新らしい元山名所と云ふ可き曹洞宗の禪寺が出來た。寺は昨年十一月十八日附を以て大本山永平寺より長德山法秀寺の寺號を戴いた。長德山は

■元山背後の丘陵の名前、法秀寺は和尚仁生廓仙師の故郷伊豫松山の法秀寺を拜借したまでの事だといふが境内は小高い松山の中腹にあるので元山の市街を越えて鏡のやうな港内が海によく見える、殊に朝鮮の天橋とも云ふべき葛麻浦の白砂青松は法堂の隙間から一眸に見える、就中最もよいのは外洋の浪を蹴つてさし昇る

■朝暾の光りが先づ第一番に法秀寺をさしのぞく事で、又秋の夜の明月はあたりの虫の音を聽きながら見られる。此の寺は未だ新築であるが法堂も方丈も朝鮮稀れに見る壯大なる建築で和尚は「皆が寄つてたかつて成功させて呉れた」と云ふが如何にも氣持のよい巨刹である

■寺の本尊は今の鷹嶺峰山釋王寺のお釋迦樣を借用して居るが來る五月には本山から高さ四尺の本尊と兩祖師の木像などが届く筈、其の時には盛んな入佛式を行ふ計畫である。和尚は曾て京城東大門外の朝鮮三十本山學校で教鞭をとつたエール大學の哲學博士、その相貌は如何にも禪宗の和尚らしいがそれでも米國に在る時は

■詩人のヨネ野口や醫學博士で有名な野口英世氏などゝ同窓生でなかなか面白い男である。それに寺男の蝉入は曾て京城に於て和尚と泣き別れした男だ相なが、這回新築の寺が落成して遥々元山に訪ねて來た時は默つて和尚の寫眞をつき出したまゝ、方丈の玄關に立つたといふ

■頗る禪的な ネンガミさんである。和尚はまた釋王寺の僧侶達から非常に敬愛されて居る。それは宗門の同一な處でもあらうが、這回法堂の普請にあたつては釋王寺から長さ七間に餘る巨材まで擔ぎ込むだ。そして雪峰山の老師金石翁の如きは是非共法秀寺に於て入寂したいと云つて居るさうな。和尚はまた

■佛畫に巧み な金石翁の筆に成つた畫を友人なるヨネ野口に贈つたところ、野口氏は非常に其の畫に感心して了ひ此の隱れたる美術家を世界に紹介したいと云つて居るとか寺の後ろは猶ほ清水の湧き出る池もあれば瀧もある。毎晩ゴーンゴーンと殘の斷鐘が響き渡れば

■薄暗い法堂 にはボクボクと木魚の音が起る。和尚はこれからさきの暑中休暇には和尚の友人たる加藤咄堂氏や帝大講師鈴木大拙氏、タゴールで有名な木村泰賢氏などを聘して涼しい境内で講演會を開くといつて居る、猶ほ夏休みに元山に來た人には宿をかしてやつてもよいと云ふて居る。

商況

債券現物特電
東京 五日出來値段（前日との比較） 東洋拓殖 日韓瓦斯 朝鮮銀行 南滿鐵道 一五八、〇〇 一四七、〇〇

公債直取引特電
東京 五日出來値段（前日との比較）

深川在米特電
五日 五分特製 五分四分 四分四分 五分 甲 八四、四〇

東京期米特電
五日現在高 朝鮮米 内地米 一八四三七 一九五二五 二二二九六六

大阪株式特電
東新 大株 安い 高安値付 二月限 前場 後場

大阪三品特電
七日前場

大阪期米特電
七日前場

雜報

醋酸釜拂底
…

同品輸入全然杜絶
…

內地糖の近狀
…

商談一段落 空賣買の各地
…

石油愈値上げ
…值上げ發表 更に二十五錢 … 現金取引となせ … 揮發油は同日 … 方の値上に … 漸次減退の傾あり

和紙値上げ
模造紙の多少値上

鐵材と京城
市況は極落付 約二圓方の値上

洋臘引上ぐ
一斤一錢五厘 値上げ發表

米餅は氣丈

精米持合ひ
二十六圓五十錢遞維持

下關相場

廣告 雜貨 仁川海岸町 取引所前 迅速 電話 六二番 六三〇番

田中 電話長一六二八番 一五二二番

各地商況

京城正米

南大門の廻米

仁川現物市場

仁川期米
七日前場 三錢高の入電

大阪七節四十七錢と高移

市場零聞
前場の商戰 前場は強硬 中限の上伸に連れ強硬の成行 今筋續て賣 同筋の賣物絶 腰入益深し 定時增證納入當日 形勢一變 今後の變動

賣收額に就き
見つ此際鞘の擴大 外に押目買の 底入り 收額は作付反別より見て更に大觳 後の弱材料に強氣 側に絕好の強材料

仁川米豆取引所
七日の四月限

賣買取組高

東京株たより

水電株は漸騰

乾物小賣相場

演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三番 二月七日より新寫眞差替

本町 壽座 電話五七八 八日替狂言 新派 關角藤派木村清憲一行 百姓の子 …

黄金町四丁目 黄金館 電話二六三七 …

本町 壽館 電話一〇五〇 神戸又新日報、博多九州日報、佐賀每日新聞、讚岐日報に連載せられたる末路主人公…

御成座 電話二九一 二月八日替狂言（六日目） 加賀見山故郷錦繪 全五冊 二度の敵皮 …

明治町 浪花館 電話二六〇番 京山若圓 京山爲合同大一座 …

新龍山 佐久良座 新派自然劇 三輪實一行 二月七日藝題 …

入院隨意（診療夜九時迄） 泌尿器病 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病 專門 永樂町二丁目 安部醫院 電話一九四一番

【問】此頃婦人方のお化粧が以前と違つて、大變清新で如何にも氣持よく美しい方が多いのは一體何ういふ譯で御座ませう？

【答】左樣です。以前はお化粧と云ふと參唔にペンキの樣に眞白だつたり、斑だつたり、赤土色になつたりしたものですが、此頃は那麼舊式のお化粧をなさる方は殆ご御在ませんからです。

【問】では彼麼に美しいお化粧をするのには、何か新式の六かしい化粧法が御在ますのですか？

【答】否、新式には違ありませんが、少しも六かしい所では無く却つてずつと手輕で勞の無いお化粧の爲方で御在ます。

【問】あの舊式の不完全なお化粧でさへ中々一通や二通の骨折では御在ませんのに、此頃の、あのホントウに理想的な高度い美しい薄化粧、あの全でお化粧したとは見えない、生れつき色が白い樣に見ゐる薄化粧が、那麼に勞なく出來ますのですか？

【答】ねゝ〳〵、此頃の方が皆お使になつてゐる白色美顔水さへお用ひになれば宜しいのです尤もあゝいふ不思議な品を製へる迄の桃谷研究試驗部の學者方の骨折は大したものだつた相ですがお陰で私達は以前のやうに骨を折らずに、生れつき色が白いやうに見ゐ、其上少しも皮膚が荒れず、段々に生地まで色が白くなる新式の薄化粧が出來る樣に成ましたのです。ですから白色美顔水は、それは大變な人氣になつて居ります。定價は一瓶二十錢で御在ます。

■白色美顔水を創製したる 桃谷研究試驗部

顧問專任 ■丹波藥學博士 ■山本醫學博士 ■桃谷藥學士 ■小磯藥學士 ■齋藤藥學士

大變な人氣を引起した 白色美顔水 最新式薄化粧料 の……話

2376 26

報 …朝日中最低温度… 零下一度八分 彼岸 三月十八日 九月廿日 …

越後大評定

第百二十四席 早川貞水口演

荻田主馬の出馬

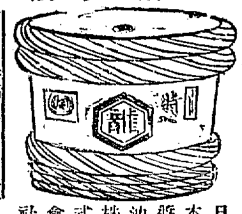
此とき黒田大隅馬に打乗つたることにて、一同の行手を遮り『イヤ各位方に於ては、早計候ふては相成らぬ御法事の大切なる當日、槍薙刀を所持いたし、何事をなさる御所存なるか、穏かならざる其扮装、鎮まれ鎮まれ〳〵鎮まれえ』云ふと野呂平兵衛『黒田大隅小癪なり、ソレ槍玉に揚ろ、ソレ討取れッ』と、第一番に突いて覚る、之を見ると、八方より吾おくれじと槍先を揃へて進む、大隅驚いて『ヤア〳〵各位、吾に向つて抵抗ひとは何事ぞ、無禮致すな』云ふをも肯かばこそ『何が無禮だッ』と突き付ける、斯は敵はじと逃出す此ときは早日暮に相成ましたが『ソレ構はぬ行けッ』と云ふので堂々と押掛る、然るに今回この橋臺の所へ將装束を著し三ツ巴の紋を描たる馬乗提灯を差上げ馬の四足を立て『ヤア〳〵各位方暫らく止まり候へ』言はれる人を熟く熟く見ると、是ぞ病中なる荻田主馬殿で御坐いますから一同獲物を投げ捨て大地へ坐つて平伏『ホ、ホーッ』病中なるが故に顔色悪しく、馬上に於て慇懃に禮をなされ 主『さて各位、何故あつて大勢にて押出し候ふや今日は一白様の御法事、御命日なるに、斯る騒動いたしたりとあつては、御佛に對しても相濟まざる儀と存ずるが、それとも何事か所存あつての事なるや、捨措き難き一大事と、家來の注進に依り病中なれども荻田主馬、この所へ乗出して、各位の御意見を聴かんため罷り出でたり、何事のためか、承はり度存ずる』御聲も慄然て居る、西尾庄左衛門その所へ出で 庄『是は〳〵御家老様には御病中殊に夜中の御乗出し、吾々の身を思ひ、斯く仰せ下さる段、何とも恐れ入りましたが、斯く多人數催しましたるは、如何にも小栗美作の悪事、之を捨措く時は御家を横領し、終には堂々たる御當家の瑕瑾とも相成るの虞あり、依て彼等親子を討取り、松平越後守の御家を安泰に留かんと存じ、斯く一同御祖先の御命日を幸、評議一決繰出したる儀で御坐る 主『ム、然らば如何に致したら、各位が此殺伐なることを致さぬで止まられるや、御家に拘はる一大事は相分つて居る又各位の忠義の芳志も能く相分りたるが、穏に何とした斯る騒動に及ばず、穏かに事が済むと考へられるか、其趣承はらん 庄『私共別段兎や角言ふことはなけれども、此上からは小栗美作を押籠に致し、倅大六を大殿より御離縁相成るに於ては、愈御家は安全と相成るべく、私共は決して一言の不服は御坐りませぬ 主『其儀よく相分つた、各位の申分は、乃公一命に換へても取計らふに依り、各位方は大勢にて押出し、大事を惹出しては、却つて宜しからず、各位は是より長勝寺へ引返し、此方よりの沙汰を相待ちますするやう 庄『心得まして御坐る 主『長勝寺へ引返したるならば、何れへなりと一箇所火を放けたることにて、之を消止め、乃公の返辭を御待ち下さるやう、必ず早計つては相成りませぬぞ 庄『委細承知いたしまして御坐る』そこで一同引返すのを見届け、其まゝ荻田主馬は病中なれども高田本城へ登城する、此方は一同長勝寺へ引返し 〇『如何だ、どうも如何とも致し方がないな荻田様の御一言では 〇『然うだ仕方がない』

お聞きなさい

▲監獄で雑誌發行 巣鴨監獄では今度囚人に雑誌を見せる事となり特に編輯したもの六百部を發行した内容は宗教的講話衛生談話等が主なるもので政治問題と時事問題とは絶對に載せぬさうだ

▲馬糞で孵化させる 支那では古くから馬糞孵化と言ふことがあつたさうであるが、鹿兒島縣では今度馬糞の醗酵力を利用して鶏卵を孵化する方法を發明し、頗りに成功して居る、費用は僅少で宜いし、又醗酵後の馬糞が肥料として最も有力である爲め一擧兩得であるさうな

金牌受領



一種獨特の芳香と風味有するを他に比類なし

さしみ漬物にかけて甘く煮物に用ひて徳用也

日本醤油株式會社 京城出張所 電話二四五番

▲不知火の研究 筑紫島原の海に於ける不知火の正體を研究するため福岡、佐賀、熊本、長崎の四縣聯合研究會は二日夜から海岸に陣取つて愈よ其正體を見極める事となつた

▲鮮人の内地小學校入學 佐賀縣東松浦郡大山村大山尋常小學校に南重夏と言ふ二十八の青年が生徒となつて教はつて居る、南重夏は故郷で小學校の教員をして居つたのが、是非日本に來て勉強をしたいとあつて、先づ小學校へ入り日本語の練習に取り掛つたのである此三月には小學校を卒業し師範學校に入るさうである

二月九日九星

暦 正月六日丙子 本命一白 北開亦口

▲一白 埓のあかぬ事有り 新事見合西方は吉 ●二黒 見かけ程にゆかぬ事有り 新事手控 ▲三碧 財物借收日 轉居旅行入門 ●四緑 ……定期商 萬吉 ●五黄 ……求職棟上 名弘 婚禮 ●六白 ……新事手控 ▲七赤 ……婚禮特許 ▲八白 ……轉居旅行入學名弘普請 ●九紫 人こまらせの事有日 新事手控萬事は吉女子は行儀を守らるべし

▲廣告▼

正月の胃

雑煮餅の喰ひ過ぎ、屠蘇の二日酔、暴飲へ胃を悪くして、胸やけ、げつぷ、胸痛抔と、正月早々から縁起でも無い、まして一年の計は元日にありと言ふて、元日には一年中の事を考へて何事も善き方に進まねばならぬ筈なるに人間の身體の中でも第一必要なる胃を悪くしてはならぬ、コンナ時には差向き信用のある、五大軍醫の合議製劑胃活を、直ぐ召し上れ、グット胸が空ひて、氣が清々する。

定價(胃活)…… (胃活錠)……

請賣 全國及海外要所の各藥店にあり

本舗 東京日本橋本銀町 山田安民藥房 大阪南久寶寺町二 山田安民藥房

月やく

月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい身體に害なく通經する良法速に御知らせ致します

東京神田錦町三ノ一九 塚田けい子

病で困る てんかん

方永年の難症にも奏効顯著なる専門良藥あり切手三錢送れ詳報す

◎名古屋市南小川町東側 救生館

御茶代は一切御斷り申上候

旅館 伊賀屋 慶北醴泉邑

わきが 治療 新

■わきがの治療は今が一番最好機■

鬱濟腋散は理化學上研究の一大發見難症の人故奏効實に顯面也諸藥効なく困重症用一圓試み給へ藥價輕症用八拾錢慢性用特製二圓半郵送料各四錢部券不苦著金直送る

本家…名古屋廣小路通…小林盛大堂

大邱村上町(元東洋館跡)

備後屋

輕便御宿 高等下宿 御中食所

無病人 無効 無代 替薬進呈す

壹劑を試よ

滋強丸

英氣を増し爽快を感ずる奇藥也

◎効能の説明 陰萎 無能 無力 夢精 早漏又短縮 痲痺 貧血 神經 肉痩 脳悪 虚弱 老衰等

●一週八十五錢 二週一圓五十錢 三週二圓廿錢(全國送金……) 七錢郵送

東京築地タイガー商會

有効の證明 體狀現品に添試よ 百聞不如一見早試よ

其効顯著しく五六日にて全快 一週非常効顯 外……

十二指腸蟲患者の福音

往復ハガキにて申込の諸彦に内容説明書無代進呈いたします

大邱東城町二 電話四六三番 水田藥院

男女一代の運勢

一册七十五錢

九星易學淘宮家相骨相速成教授◎規則要二錢

東京本郷眞砂町卅一 陽新堂

レンガーミシン會社 大邱支部

分店所在 大邱、慶州、安東、金泉、大田、公州

大邱軍威義城安東間 定期乗合郵便馬車

小荷物運送・代金引換 小荷物・物品委托購入

荷馬車業開始

安東邑内 郵便馬車 營業所

主任 國井定次郎

大邱營業所 錦町(電話五一八番)

期米 取引 實

定期米賣買之栞無代進呈 前金注文は紹介を要せず 大阪市北區堂島濱通二丁目 大阪堂島米穀取引所仲買人

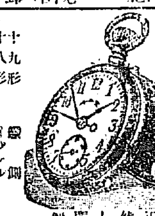
入江商店

電話北四六五一〇 六八五二

滿洲 五龍背温泉

安奉沿線五龍背驛を距る二丁 閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し

風光絶佳にして一大樂園地なり 諸病に特効あり理想的療養場なり 宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり



新荷着アンクル式片側懐中時計

側 ニッケル……一圓九十錢 ニッケル側……二圓 同(機械……)……三圓九十錢 同……三圓五十錢 銀側……十圓 金鍍金側……四圓二十錢 ニッケル腕時計……九圓 同 リウーム付……十一圓 同……十圓 銀側……五圓 金鍍付……十二圓 金張(十年保證)……十八圓 同 十八金…… 銀……

十九形 十八形 十……形 十一形 ……

右は今回新着の商品にて本商會独り店に無き所のもの伏して御購求を御願ひ候尚地方御遠隔の御注文は小包郵便にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國寶直輸入商

インググレッシー商會

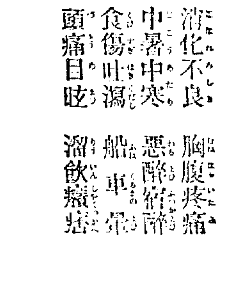
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

寫眞

寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版

最も熟練せる技術を以て最も迅速と叮寧親切を旨とし御需に應じ候

京城日報社 寫眞製版部



消化と毒けし

仁丹

主効 消化不良 中暑中寒 食傷吐瀉 頭痛目眩 胸腹疼痛 悪酔宿酔 船車暈 溜飲癪痞

一粒爽快 疲勞を防ぐ……此仁丹!!

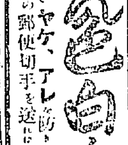
精氣充滿 悪疫を防ぐ……此仁丹!!

飲過 食過 頭痛 腹痛 の時仁丹飲んで大元氣

旅行 遠足 運動 散歩 の時仁丹飲んで大愉快

金言

空言を以て教ふるは實行を以て教ふるに如かず(孟子)



七日ソゲタラ鏡をどらん色白くなるゲンソ液

今東京で大評判の白美の元素色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる

全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す

東京和泉橋際ゲンソ液本舗 松本樂店

二十錢 四十錢

高貴な御料

色と雪の如くに白く キメを羽二重の如くに細かにする

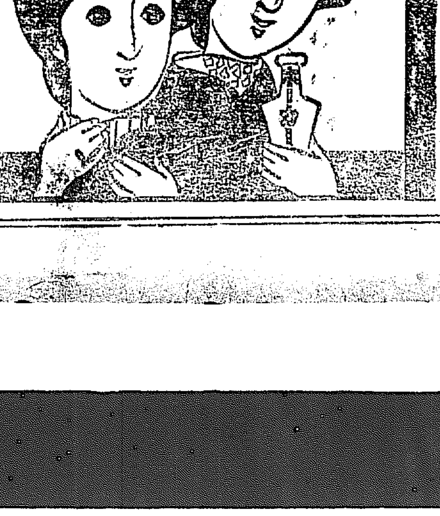
東京で一番よく賣れる美人となる化粧料

ホーカー液

光榮ある化粧料ホーカー液は其品質の最善にして美容衛生に適し效果の卓絶顕著なるは既に御愛用各位の御賞讃御高評によりて明かなり、近來種々の類似品現はる必ずホーカー液と御指名乞ふ

▼三越を初め到る處に發行益々盛なり

本舗 東京 堀越嘉太郎



再版 改訂増補

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次郎編著

朝鮮不動産登記申請書式必携

▲紙數四百八十頁 代價金壹圓郵税金六錢

本書中不動産登記の部には土地登記に関する嘱託等併て百貳拾餘件並に依る申請書式、官公署の登記に關する嘱託書式等併て百貳拾餘件並に印鑑届、印鑑證明願、改印届、土地變更事項に關する證明申請(京城府定)委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目録雛形等、猶て所之官通牒、登記に關する決議、實例等苟も申請人の參考と爲るべきものは學て各書式の末尾に之を掲記し以て疑默を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得べき程度に之を編纂せり土地所有者、不動産上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

發行所 京城日報社 京城大平通 振替三〇〇

荊妻チカ子葬送の際は御多忙中遠路御會葬被下難有存候略儀以紙上御禮申上候

大正五年二月七日

夫 中尾偵二

友人一同

燒麩製菓原料製造

大邱府錦町郵便局前 各種粉類

大野支店工場 電話二三七番

汽車 京釜 南行 北行 ……

第三版

京城日報

八日朝刊
（第三千二十四號）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金六拾錢　郵税（一ヶ月金拾五錢）
廣告料　五號活字一行金七拾錢
發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　登口政太郎
發行所　京城日報社
電話　編輯局長三四五番　營業用二一二四番

仁川米豆取引所

七月限 [illegible]
……を入れて……より賣物多く……丁度に押し一段……合の……市況は頭重き裡に……依然保合……り返し居るに過ぎぬ
……ならん果して來るべきかは……
▲後場　當限九圓九十錢ゝ中限……十一圓十八錢
十一圓十一錢　十一圓十六錢　十一圓……九錢

群山客月貿易

……四萬五千三百十石　二萬七千二百五石……
移出高を見たるに比し約……減となり……米穀五十四萬三千三百五十九圓にして之れに次で牛皮五萬一千九百七十……
▲價額五千圓以上……ング六萬一千四百十九圓……晒金巾及び生金巾及び生シーチ……るものを示せば……を示したるも輸移出貿易は米價下落の爲蠶繭に比し著しき減少を見たり
……移入貿易は異常の好況……

總督の諭告と吾人の覺悟

三、結論

凡そ國家の盛衰興亡は之れを構成する所の分子たる人民の賢愚邪正に因るを常とす、蓋し國家は個人の集合體にして其依って成るは必ず個人の生活如何に淵源するは自然の勢なればなり、然れども國家の存立及び更新を計る可き政府の施政方針は往々にして個人を指導啓發するの力鮮からざると共に、所謂暴政の恐る可きは虎よりも猛く、之が爲めに人民の困憊疲弊を來すの因たること亦稀ならずとせず。

思ふに洋の東西を問はず、時の古今を論せず、國家の起伏するもの擧げて數ふ可からず。或は政府の暴虐に原因し、或は人民の昏迷に原因するの差ありと雖も、汚隆浮沈の常なきを苟くも史を播く者の痛歎措く能はざる所なり。東洋に於て之れを見るも、支那に在りては春秋戰國より秦となり漢となり、隋、唐となり宋、元、明、淸を經て遂に共和政治となりしが今や又帝政に復らむとす、此間に於ける變亂爭闘に依り國民塗炭の苦に遭ふもの、其悲慘名狀す可からざるものあり。近く之れを朝鮮に於て三韓以後の變遷に見るも、新羅は當時の群邦を征服して爾來五百年、次で高麗の太祖新羅を滅して朝鮮を統一せしが又た五百年にして高麗王の宰相李成桂其君を廢し自ら立ちて李朝五百年の始祖となり、遂に近代に至れるは史迹の明記する所にして何人も詳悉するところたり

斯の如く易姓革命窮りなき邦土に顚覆たるの人民こそ誠に悲慘の極なりと謂ふ可し、然るに獨り我帝國は上に萬世一系の皇室を戴き、下に忠良勤勉の國民を擁し、幾多の艱難を排し來りて遂に今日の盛運に達せり寔に古今に絶し東西に稀なる多幸の國家なりと謂はざる可からず、而して朝鮮は將來の悲境より脱し來りて此大帝國の一部となり、其人民は一躍して大帝國臣民の地位に上り、將來萬世不易の泰平に浴して永久に其幸福を完うするを得可し。されば朝鮮人たるものは宜しく古今に於ける世界の形勢と今日に於ける其境遇とに鑑み、此幸福を看取して啻に不平不滿の心を抱かざる而已ならず、進むで恩に報じ忠を効すの誠を盡さゞる可からず。是れ寺内總督が今回の諭告に於て

今や朝鮮は帝國の疆域にして其屬邦に非ず、朝鮮人は帝國の臣民にして其隷屬に非ず。建國以來易姓革命窮りなき小邦の國民より一躍して帝國臣民たるに至りたる者宜しく其地位の高くして其境遇の幸なるを會得し、聖世の良民として報効の誠を竭すの覺悟なかる可からず

と喝破せる所以なる可し、又た從來朝鮮に居住せる内地人は之と同時に朝鮮人に對して至誠の友情を披瀝し懇切に之れが指導の任に當り以て内鮮人の融合を圓滑ならしむるに努めざる可からず、蓋し現今に於て内地人は學術、技能又は經驗等朝鮮人に比し一日の長たるが故に、能く其模範となり儀表となりて其誘導に怠らざる可きは實に大國民の任務にして些々たる利害に齟齬たるが如きは朝鮮統治の事業を大成するに於て吾人の採らざる所なり。要之に朝鮮人をして其人格、智能、德性等の向上に由り、全然内地人と同樣の地位に上らしめ、内鮮人の間に於て何等の軒輊なきに至り、又朝鮮人に在りても誠心國家を愛するの精神に於て一歩も内地人に讓らざるの時期に至らば兩者の幸福始めて完全なるに至る可し、是れ即ち同化政策の極致にして何人も其實行に努力し秋毫も怠る可からざる也。

今回の諭告は一面に於ては既往五年間に於ける實績を明示し、總督が併合の劈頭に宣明せし所の言約を履踐したるの事實を明にし他方に於て更に將來に對する施政の方針を定めて官民一般の遵行する所を提示したるものにして、蓋し官民一般を指導す可き指南たり、賢明なる當局者は之れに依りて其施設經營を誤る所なかる可く、又既に數年間の實驗に依り朝鮮經營の成果顯著なるを見來りたる人民は、政府の施設に對して最早一點の疑念をも抱くものあらざる可きは勿論、能く總督今回の諭告の眞意を諒とし、益々進歩改善の機運を助長するに努む可きは吾人の信じて疑はざる所なり（完）

戰亂の影響と日本の化學工業
―朝鮮の原料品―（二）

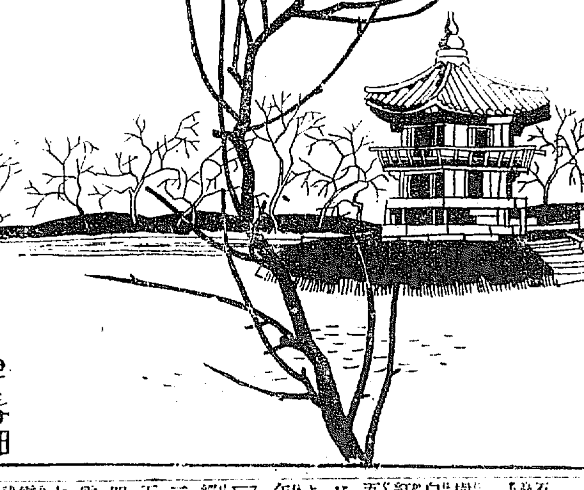
中央試驗所理學士　今津明氏談

前段に於て製品と稱するは石鹼、染料、醫藥、紙等の如く使用者の手に渡るや其儘之を使用し得る完成品の謂にして、原料と稱するは石炭、空氣、硫黃、鹽、石灰、食鹽、木材の類にして主として天産品なり故に甲地に於て生産豐富にして安價なれども乙地にては之を得ること困難にして強いて之を得んと欲せば高價なる場合多し即ち製造化學工業の盛衰興亡は原料の供給如何に左右せらるゝ場合も亦尠しとせず是に於てか化學工業品中西洋にては盛況を呈するも我國にありては原料の關係上一概に製出し得ざるものあり之を以て一に技術の不進歩或は研究の不充分なりとして技術者を責むるは妥當ならずと謂はざるを得ず

△補助原料と技術　我國に産出して西洋各國に産出せざるものあり例へば樟腦、漆等は日本の特産品なり是等は西洋に生産せざれば西洋の技術の拙劣なるために非ずして原料の絶無なるがためなり恰かも戰爭の勝敗が地利の支配を受けて人力の如何とも爲す能はざる場合あると同一の理なり然れども原料豐富なるが故に必ずしも一躍して製品を出し得可しとは思はれず原料を順次變じ一つの製品と爲すには幾多の補助原料と精巧なる技術との必要なるは喋々を俟たず石鹼の製造に例を取るも脂肪たる油のみにては石鹼とは爲らず之を苛性曹達と共に煮沸し初めて石鹼を製出し得るものなり其製造の際の苛性曹達の如く原料を製品に化せしむるを補助し原料と製品との中間に在りて媒介を爲すものを補助原料と云ふなり

△日本の原料品　其補助原料中の主なるものは硫酸、曹達、硝酸、鹽素、酒精の類にして就中硫酸及曹達は最主要の補助原料なり從って其消費量の多少は直ちに化學工業の盛衰を表示するメートルなれば以下逐次之に就て述ぶる所あらんとす、硫酸は吾國には其原料たる硫黃及び硫化鑛を多量に有するを以て安價に且つ多量に製造せられ現在の狀態にては我國の需要を充して猶餘あるため支那、南洋地方に向って盛んに輸出する狀況なり之に反して曹達は其原料たる食鹽が我國には天日鹽又は岩鹽等の天産品なく自然安價に之れを得るの途なく曹達工業は原料の壓迫を受けて發達を阻害せられ毎年約三百萬圓の曹達輸入あるは實に寒心の至りなり

早春＝醉香亭　前千川帆筆



北滿洲の森林

北滿洲の森林は凡て天然林なるが故に林相は參差亂雜を極め疎密一ならず地勢崎嶇たるを以て經營困難の場所尠からず、一九〇七年東淸鐵道森林條約に據れば北滿の森林は之れを三區に分つ即ち

一、東區　石頭河子より高嶺子に至る間にして鐵道は兩側に沿ひ一直線に連亘せり其面積は六百八十平方露里とす

二、興安嶺東斜面區　東樹河流域一帶に分布しアハト嶺より六十露里の間に連亘し其面積四百五十平方露里とす

三、森林河上流區　森林河は哈爾賓の下流にて松花江に合流する河川にして全流域中三十露里の地點より八十露里の地に達する面積五百平方露里なり以上の三區に屬する森林の面積は一千六百三十平方露里にして總て東淸鐵道沿線に於ける露國人の經營に屬す

▽大約三區に分つ　事を得べし、第一區は石頭河子にして馬蟻河上流の一帶を掩へり、第二區は高嶺子にして海林河の流域にあり第三區は郦葛羅瓦にして窪末河流にあり右三區の面積は合計八萬五千三百七十二露畝にして其中無樹の原野七千四十八露畝を占め密林及び疎林の面積は左の如し

	密林	疎林	計
石頭河子	一八、六八七	六、八九三	二五、五八〇
高嶺子	一七、四一三	一、三六八	一八、七八一
郦葛羅瓦	三一、六二三	二、三三八	三三、九六一
計	六七、七二三	一〇、五九九	七八、三二二

樹種は馬尾松最も多く落葉松之に次ぎ白樺、黃蘗等の樅樹、楡樹、樺樹、白楊、紅樹、欄樹等あり石頭河子、郦葛羅瓦の二地には馬尾松最も多く高嶺子には落葉松多し、其樹齡は百七十五年より三百五十年にして一千九百十四年七月一日の調査に據れば

▽採伐開始以來投じたる經費は一九一〇年に開きし林道工費二萬一千三十九留五十九哥、八萬五千三百七十露畝の測量費七萬七千四百八十六留二十二哥、雜費八千零三百七十九留五十二哥、計十萬六千九百五留三十三哥にして一露畝當り一留二十五哥二となり稍高率を示せるが其作業の困難なるを思へばまた諒とすべきなり

註、一露里即一ウエルストは我九町四十五間、一露畝即ち一デシャチンは我一町一反四畝八歩なり

北滿洲の森林の經營には前記の外寒期及び馬賊等の困難あれ共其産木は性質優良にしてフェリポフ博士の研究に據れば烏蘇里産に比して上位に在りといふ、北滿木材の販路は東淸鐵道の需用額十七萬八千立方サーゼン（一サーゼンは我七尺四分）沿道民間の需用一萬七千立方サーゼン

▽南滿に輸出する者五千立方サーゼンにして此外浦鹽を通じて歐洲及び支那内地に輸出せらるゝもの若干あり總計一箇年の需用高二十萬立方サーゼンにして約一百平方露里の森林を伐採するを要する次第なるが如程思ふに任せず目下の所にては供給力不充分の譏あるを免れず東淸鐵道所用の木材は薪十五萬立方サーゼン、丸太材七千六百六十四立方サーゼン、角材二千五十四立方サーゼン、板材千三百二十四立方サーゼン、枕木一萬六千三百五十立方サーゼンなり、東淸鐵道は東區に於て其の面積の十分の一、西區に於て十五分の一の森林を有すれ共今尚伐採をなさず、悉く木材商の手より請負購入し居れり、現今

▽木材商の採伐方法は任意の地點を選擇して苦力を募集し伐出しを行ふものにして學術上及び森林經濟上に於て何等の顧慮をも用ふるところなきが故に自然濫伐の弊に陷る事なきを得ず、學者の説に依れば北滿森林の伐採は之を六期に分ち一期を三十年と定め第一期には枝條及び林道線上の立木を伐り第二期には林道兩側一帶の立木二分の一を伐り第三期には殘餘の立木を拔排して伐採し漸次かくの如くにして經營せば第一に林道を開きて運搬を便にし第二稚木の成長を早め第三森林の壽命を無限に延長するの効あるべし然るに今日木材商の爲す所を見るに手當次第大木を濫伐しつゝあり早くも數

▽其弊風を改めざれば　十年にして北滿森林の價値全滅するに至らん、北滿木材の切出原價及び販賣價格は大約左の如き標準に依る

	樺樹一立方尺	枕木一本	薪一立方サーゼン
販賣價額	一六、七 哥	六二、〇 哥	一三、〇 留
原價	九、五	四五、〇	一二、〇
差額	七、二	一七、〇	一、〇

原價は木稅運賃をも包含せるものにして右の標準價格に據るも尙木材商の利益尠なからざるに今日東淸鐵道の購買しつゝある價格は之よりも一層高率なり

一句づゝ
―丑の日の會吟―

○　樹下に解けぬ雪の土となれり　鳥堂
○　雪解の谷町の尾に池を見ぬ　目池

日報歌壇
選　梨花

□古都子の君に
我が心君が御歌に共鳴りて太陽の下にしも心躍かり
いたましき君が御筆の跡しぬよ新聞紙にも泣かまほしけれ
君が歌いよいよ清らにゆかしけれ水仙のごと白梅のごと

□その折々
追憶に浸る心は銀紙のチヨコレートをばまさぐる如し
我廿年三とせ古びぬ思ひ出は彩色繪の如く鮮かなれど
戀はるてふを知り初めしより我が生命若き日よりもいとほしみける
心ゆく迄泣かせ給へねこの夜半のみ水仙の花しみじみ匂ふ

萬人必備の寶典活社會の活字引

大正五年　國民年鑑

四六版千餘頁　定價並製五十錢　上製壹圓　郵稅各十二錢

國民年鑑は日本に於て最も新式なる且つ最も實用的なる現代無比の國民的年鑑なり即ち日本國民唯一の常識百科大辭典なり
國民年鑑の編纂法は世界に有名なるアルマナツク又はイーヤブツクの編纂法に則り更に是れを日本的に改造したるものなり
國民年鑑に至りては政治、經濟、文教、軍事は素より娛樂、演藝、相撲等の雜事まで大凡社會百般の事象は悉く網羅しあり
國民年鑑は普通の年鑑の如く無味乾燥なる統計集に非ず其特色の始めよりて年讀んで興味津々たる事なり
國民年鑑は故に政治家にも實業家にも軍人にも學生にも勞働者にも必ず即ち我國民全體が持つべき書也
國民年鑑は世界に活動する學者の知名の士約二千人の小傳を掲げあり
國民年鑑は代及び辭書とに見つべき價値は無類也
國民年鑑は其の人名は特に御大禮に關する御儀式典禮奉祝其他諸般の事項を卷頭に掲げて國民の記念たらしむ
國民年鑑は正價は五十錢是れ千載一遇の大奇蹟たり
國民年鑑は定價を越ゆる年度に於て出版界の一大奇蹟たり
國民年鑑の行數は萬にして眞に五十錢なれ年を迎へて新なる活動をなすもの
最大秘訣　其座右に備ふるは新しき年を迎へて新なる活動をなすもの也
取次所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

伊太利　マルチニ　ロツシ社　釀造
天下の美酒
ベルモツト

□本酒は幾那及其他補血の効ある藥酒を含有す其味甘く且包含物自然の芳香を有す
□本酒は酒精分少なきも上戸下戸の嗜好に適し且つ滋養強壯飲料として日常用ふるに最も佳なり
朝鮮代理店　キリンビール發賣元　宮内省御用達　株式會社明治屋京城支店
（本品類似の如何はしき品あり商標御注意を乞ふ）

株券無效公告
一、當會社株券壹株券（甲第九七二三號）壹株　清水清吉殿名義明治四拾貳年壹月拾貳日發行
右株券紛失ノ旨屆出ニ付無效トス
大正五年二月八日
東洋拓殖株式會社

太田胃散　胃病良藥
●飲過ぎ食過ぎに妙なり
定價十四錢廿四錢四十錢五十錢一圓
本舖　東京呉服町　太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に販賣す

實業之世界
二月一日號出づ　●十一錢（郵稅一錢）
▲文明の集散地……三宅博士
▲能力發揮の修養法……鎌田慶應義塾長
▲戰後の貿易と日米の躍進……津村法學博士
▲大隈伯と爆裂彈……野依社長
▲澤柳博士の詐欺行爲……野依秀一
▲野心論執筆者藤原喜代藏君に問ふ……文學博士澤柳政太郎
▲野依君に答ふ……野依秀一
▲野心論の出版者實業之日本社の責任を問ふ……野依秀一
▲舊主增田氏に與ふ……長谷部泰三
▲日本一の貿易業を支配する九十五圓の月給番頭
▲府縣版附錄（三十六頁を増して定價從前通り十一錢にて販賣す）（第三）神戸市及兵庫縣の人物と産業
▲神戸は何處まで膨脹するか……澁澤男爵
●東京市京橋區南鍋町二ノ三　振替東京三一三三　實業之世界社●

第三十七回帝國議會

貴族院(七日)

▲乃木家興復質問

貴族院豫算總會は七日午前十時開會岡部委員長は大正五年度總豫算、同特別會計豫算、同追加豫算及び豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件を議題に供すべしと宣し尾崎法相は過日の本會議に於ける河村讓三郎氏の質問に答辯すべしとて絶家後興復手續は一箇年半を要すべきに乃木家に於ては僅々七箇月を以て終了せり其の理由は乃木家が遺言により無財産となりし爲に外ならず墳墓祭具等は國庫に屬する性質のものに非ず從て之れが保護に付ては法律上の手續を取る必要なしと信ずと辯述する所あり之に對して河村氏は更に興復期間を一箇年以上とせしは相續人なき場合なりと解するに法相は無財産なるが故に法律上の手續を踏ますとは如何なる理由なるや又た墳墓祭具等が相續財産ならざる理由如何と質し法相は乃木家の如く無財産となりし場合は從來戸籍吏の取扱ひ來りし慣例に依れば一年以上の期間を要せざる例あればなり又た墳墓祭具等は監理人にまかせあるを以て國庫に歸屬すべきものにあらずと答へ更に河村氏の質問に對し田川參政官より事實に付き答辯し目賀田男は法律上の明確なる答辯を促がし當該政府委員の答辯を望み此の間江木千之氏より日支條約に關する質問ありたるに對し石井外相は秘密會を要求して直に秘密會議に入る十一時半再開乃木問題に付き豊島法務局長より墳墓祭祭料等は乃木家親族の共有に屬し相續人なき場合と雖も墳墓祭具は國庫に歸屬すべきものに非ざる旨を答へ同四十五分休憩

▲午後は一瀉千里

貴族院豫算總會は午後一時十分再開主査の報告に移り第一分科主査田健治郎男は大正五年度に於ける正貨處分、公債借換問題に關し政府當局との應答に就て大要を述べ還元問題に論及し追加豫算として政府が二千萬圓の公債を募集し以つて外債借換に當ると同時に國債整理基金法第五條に對する修正法律案提出の旨を述べ原案贊成の報告をなし第二分科主査奥平昌恭伯は簡短に外交報告をなし次で第三分科主査高木兼寛男は分科會に於ける質問應答の大要を述べ原案贊成を報告し且つ教育調査機關に關する希望決議ある旨を述べ第四分科主査村上敬次郎男は陸海軍豫算中特に海軍に於ける八四艦隊の財源に關して委員と政府との質問應答を概説し原案可決の旨を報告し第五分科主査武井守正男は農商務、遞信所管に關し第六分科主査淺田德則氏は各殖民地豫算並に鐵道院豫算に付き其れ〴〵分科の内容を報告し各原案可決の旨報告之れにて各主査報告を終り質問に入る

△首相と目賀田男

劈頭目賀田男は政府は國債基金法第五條の改正案を衆議院に提出する由なるが這は單に形式上のことにして其の實體は五年度豫算の變更に非ざるかと迫り倫敦宣言加入に關し首相の答辯に相違ありしを詰りしに大隈首相は前者に對しては決して原豫算の變更に非ずと答へ後者に對しては外相の言は予の與り知ることに非ず予は樞府に諮詢すべきは勿論其の他の重要事項も諮詢を經べきものと信ずと答へ目賀田男更に將來鐵道經營に關し質問し之れに對し大隈首相は從來の鐵道經營費は內債外債及び一般財源に依りて經營し來れり將來に於ても時勢に鑑み遲急の措置に出づべしと答へ石渡敏一氏は第一分科に於ける前田子の希望條件に付き藏相の意見を問ひ藏相は考慮の上にせんと答へ次で目賀田男は大正五年度豫算には修正を要すべき箇處多く更らに審議を要するを以て審査期限を延期すべしとの動議を出し採決の結果少數にて消滅し石渡氏より今日は之れにて散會し明日更らに開會すべしとの動議あり滿場一致異議なく午後四時十分散會(東京特電)

貴族院別報

七日午前午後に亙り貴族院豫算總會を開き五年度總豫算各特別會計及び追加豫算を議題とし第一分科及び第六分科主査あり夫々經過及び結果の報告ありたり後目賀田男は國債借替により減債基金を增加するは法律上及び豫算の性質上豫算を修正すべきものにして追加豫算として提出すべきものにあらず首相の見解如何倫敦宣言參加入を樞密院に諮詢せざるは首相は諮詢の理由なしとし外相は諮詢の暇なしとし其の答辯に齟齬あるは如何、鐵道の資金は是を國庫に仰ぐの意見なるや又は獨立經營の方針なるやに付石渡敏一氏は第一分科の附帶決議たる鐵道財源を一般會計の借入に依らざることに付き政府の所見如何を質し首相藏相其々之れに答辯して討議に移り目賀田男は豫算討議を暫く中止すべきことを主張したるも少數にて消滅し石渡氏は議決を明日に延期すべきことを主張し採決の結果明日引續き開會のことに決し四時半散會す(七日夜九時四十分總督府著電)

衆議院別報

衆議院第五分科會に於いて市川文藏(同志)大澤辰次郎(同志)兩氏は問題となれる鹽の粉碎商に關し檢査院の報告と本府の答辯に計數差異ある事及び粉碎機は將來實際に必要なるか豫算目的の解釋に付政府と檢査院と見解の異なる點に關し一致を見出す途なきや海雲臺の土地買收は政府の見込違に非らざるやと質問し荒井政府委員より其々答辯あり(七日夜九時四十分總督府著電)

○北京文武官聯合大會

四日在北京文武官聯合大會を開きたるが此の會合は形勢の變化に伴ふ打合せなりと(北京特電)

○巡警等知事を拘禁

重慶官邊の情報に依れば重慶の西方八十哩の隆昌縣(四川省)に於て巡警士卒と合して同縣知事を拘禁せり之れが爲め新に到著せし北洋第三師團兵の一部は急遽同地方に向け進發せり(北京特電)

○蒙匪の猖獗と政府

北京來電に據れば蒙匪勢ひ益々猖獗にして竟にコロウを突破せり北京政府は之れが鎭撫に苦心中なり(東京電報)

○米國株式暴落の原因

紐育ウオール、ストリートに於ては獨逸に對する紛爭を慮り株式相場の暴落を來せり是れ伯林政府がルシタニア號問題に關し米國の要求を容るゝ事を拒絶せる旨發表したるに據ろ(倫敦電報)

○露國募債と倫敦タイムス

倫敦タイムス紙は日本に於て露國公債五百萬磅を募集すべき協商進行中なるを認知し且つ曰く之れ日本の經濟力の增加せるを示すべき新なる示威運動にして之れが成立はペトログラードに於けると均しく倫敦に於ても英國正貨の貯藏を助くるものとして歡迎せらるべし(倫敦電報)

○張都統任命

張將軍は張作霖を熱河都督に任命せん事を政府に電請せり(奉天特電)

○政府提出案(七日)

簡易保險法案及び改正案

政府は七日衆議院に簡易生命保險法案及び明治三十九年法律第卅一號中改正法律案の二案を提出せり(東京電報)

一、簡易生命保險は政府之れを管掌す

二、保險會社は之を營むことを得ず

三、保險の種類、被保險者の年齡、保險料及び被保險者の積立つべき金額計算の基礎に關する規定は勅令を以て定む

四、保險金額は三百圓以下とす

五、保險者の身體檢査を行はず

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案 本法は臺灣に施行するものにして大正十年十二月三十日迄其の效力を存す

○宗演師病狀(後報)

臨濟宗の耆宿たる釋宗演師は去月二十九日發表樋口博士の診斷にて肺炎と確定し目下鎌倉山の東慶寺に於て靜養中なるが此處兩三日が大事のところにて一切面會を謝絶し居れり(東京特電)

○最近鐵道輸送

一月下旬に於ける鐵道貨物荷動き狀況を見るに發送噸數四萬二千六百六十五噸收入十一萬九千六百八十一圓にして之を前年同月下旬分に比較する時は數量に於て八千四百九十四噸(二割)收入に二萬六千百七十圓(二割二分)の增加なり前表の如く米大豆石炭を除きては槪ね增加を示せり左に主要貨物の荷動き狀況を槪述せんに

▲米 は前旬來出荷捗々しからず漸く八萬噸臺を維持して本旬に入りしが米價は依然として軟弱を唱へ加ふるに阪神地方に於ける入津米激增し停滯米夥しき數に上り從て引續き沈滯したるため荷動き緩漫なりし斯荷動不振を呈せしかば客臘中に於ける稀有の出穀が反動的現象を齎らせるものなる可しと雖も前年同期は恰も米價調節の實施が愈々具體的となり人氣非常に沸騰し異常の出荷ありたる關係も亦本旬減少の一因に算すし、次に

▲大豆 も亦市價軟弱にして荷動き鈍狀を呈せり是れ其供給が一巡行渉り漸進的取引の時機に入りたるに依るものにして前年一月同期に比し減退を示せるは前年同期は前々年收穫期に相場不引合の爲め一般に賣惜み市況沈靜に傾きしもの前年度に至り俄かに好氣配を呈し爲めに荷動き一時に活躍せし關係に因るものなり本旬中出荷の大部分は內地直送にして中國筋、九州地方就中下關、門司、鹿兒島、尾道、天滿等に仕向けられたるもの最も多し

▲雜穀 前二品に反し獨り本品は荷動き好況にして黃海道管內は黃州、江景、沙里院等の出荷最も殷盛なり其仕向地は元山(東)新義州(玉蜀黍)鎭南浦(小麥)等なり

○江原鯨豊漁

江原道長箭浦捕鯨事業は嚴冬の候となりたるを以て例年の如く事業を中止し全部引揚の豫定なりしも本年は近年稀なる捕鯨あり前途有望なるより全部の引揚を見合せ事業船五艘の內二艘は本月三日蔚山に引揚げ殘り三艘を以て引續き從業中の處一月一日より同月十八日迄の間に於て長須鯨十頭座頭鯨二頭此の斤量百五萬四百卅三斤價格六千三百卅七圓七十六錢を捕獲したるより三艘の事業船にては尚不足を感ずるを以て蔚山事業場に事業船の派遣方を交渉し一旦引揚げたるものを引返し從業中なるが目下長箭沖合及び附近沿海には鯨群の來集少なからざるにより本年は冬期の休業をなさず春期まで繼續すべしと

○江原海苔發育不良

江原道各沿海に於ては例年一、二兩月の交婦女子の內職として海苔の採取を爲し精製して市場に賣捌き來りしが昨冬海上風波激烈なりしと氣候溫暖なることに起因し海苔の發育頗る不良にて僅かに自家用を辨じ得る少量の採取を爲したるに過ぎず故に市場に搬出せらるゝものは皆無の狀況也

○紀元節と在鄉軍人會

京城在鄉軍人會にては來る十一日の紀元節當日午前十時より一同憲兵隊司令部前に整列し遙に東方宮城に向ひ遙拜式を行ふ可しと

○仁川商議委員會

七日午後一時より仁川商業會議所に於て委員會を開き賦課徵收方法に付協議を重ね引續き賦課率の調査を遂げ午後三時過散會せるが何れ兩三日中に同會を開くべしと

○隊署長恒例會議

京畿道警務部に於ては京城府內各憲兵分隊及び各警察署長恒例會議を今七日午後一時より開催せり

○御眞影御下賜

今回平安南北道管內の學校に下賜せられたる御眞影は七日總督府の長江屬之を奉戴して出張、平壤新義州等へ向へり

○隈部警務部長巡閲

隈部警務部長は管內仁川、江華、金浦、永登浦の各警察署巡閲の爲め眞野警部及び通譯數名を隨へ約九日間の豫定にて八日出發す

○京畿間接國稅犯則者

京畿道管內に於ける最近調査に係る間接國稅犯則者に就て聞くに犯則嫌疑者總員六十三人あり而して通知履行者五十九人なるが此罰科金百四十五圓追徵金十二圓九錢其他沒收品價格十圓六十八錢あり稅目は酒稅煙草稅鹽稅等なりと

○遞信局海員試驗

來る二十五日鎭南浦遞信局海事出張所に於て臨時船舶職員試驗執行の筈にて受驗手續其他の詳細は七日發行の總督府官報にあり

○銀行券發行高

一月三十日より二月五日に至る一週間の銀行券總發行平均高は三千七十二萬五百四十九圓にして內正貨準備發行平均高一千百五十八萬七千七百五十五圓、保證準備發行平均高一千九百十四萬二千七百九十四圓なり

人事消息

▲村地卓爾氏(元山府尹) 七日夕入京朝鮮ホテルへ投宿

▲川上親孝氏(所澤航空隊附陸軍步兵中尉) 七日朝入京不日火星輪に投宿八日朝發

南言北語

▲獨逸の航空船は此頃某國を襲つたり巴里を脅したりして居る▲日本のタツタ一つの飛航船は所澤から大阪へやつと來たかと思ふと落んだ▲開いたり落んだりは幼稚園の歌にある筈だ矢張り日本の航空術は幼稚園だまだ〳〵研究中であると云へばあきらめもつく▲研究と云へば滿洲で飛行機や自動車の研究はよいが自動車が勢込んで奉天北大營の衛門內へ走せ込んだ▲衛兵さんは張作霖師長のお出だと思つて捧銃で敬禮して見ると日本の自動車だつた▲イヤ吃驚するもせぬも無いので衛兵隊入よりも來だ驚いて劍鐵砲の兵隊さんがエンヤラヤツさと抑し出したげな▲戸迷ひも此處迄來るとお愛嬌になるから好い此の向で行くと戰爭の時には敵の陣地に乘り込んで敵の大部隊は前方三哩の地點にありなどは餘程奇抜だ▲汽船が拂底して船の成金が大分出來た相なの拂底へ持つて行つて每日の汽船は磁礁ちやない實際ひどいよ▲華奈十餘號(?)では心細い事だ之れから小汽艇の作文に汽船は滿離するのなりと濟く者が出來るかも知れぬヤレ〳〵▲支那では國庫債券を出して役人の頭をハネル相なが日本では公債の大募集はやるげな▲今度貴族院の附帶決議案が通過すると一千萬圓は公債募集となる▲其處で公債は既に三千萬圓と四千萬圓を發行する外に露國の公債が五千萬圓、之れに今度の二千萬圓を加へると約一億四千萬圓となる譯だ▲偉い樣な弱い樣な妙な氣がするが頭をハネらるゝよりはズット優しだ之れが出來れば日本の財政も大にコオサイを添へる事になるテナ事を云つて居るのでは露國公債を日本が引き受けるのは日本の經濟力が增加した證據だんて煽動て上げて居る▲餘り煽動ては困る兎角日本人は煽動に乘り易いからナア

◎本日總督府公文(號外)添付

忠南縱横記(七)

鯨洋生

◎公州より論山に至る道路は、其延長八里二十八町、坦々として車の走る事矢の如し、路傍多くの人家を見ず、左方近く鷄龍の峻峰は、巍峨として長天に沖し、餘脈東西に走つて四顧皆山ならざるはなし、道路は山間の稍々平かなる處を延ぶ、敬天に至つて論山郡に入り、遙かに平野を望むを得べし、此の附近鳥獸多く、殊に車の響に驚いて、至る所數十羽の雉の群の飛ぶを見る、其の多き雀群の如しも、予は銃獵を以て經樂となすが故に、山野を跋渉して雉群に出會する事度々なるも、斯る大群飛を見るは始めてなり、予の驚くを見て、同行の乘客は君、早く此の道路を通過せよ、食を逸する如しさ、以て如何に其の多きかを知るべく、若し夫れ試に一旦の此に一見せしめんか、乘延獵師法るを忘るべし、午後二時過ぎ論山に着す

◎偶々忠北清州支局の松本君に邂逅す、君は雉今扶餘より同所に來りしも惡路の爲南行列車時間に遲れたるなり、扶餘の近狀を聞き、松本君は予と入り代りに公州に向ふ、論山驛にて出張より歸途の齋藤警務部長に會ひ、直ちに江景に向ふ、車中木浦署長浦野警視あり、部長を迎へに來れる中西江景署長あり、談興に入らんとする頃早くも江景驛、旅館の醴江城旅館に入り、此の地亦た予が舊遊の地なり、風物の大した變化を見ず、美女系下ん居る江景の市街は、人家櫛比し、鮮人旅館は新らしく葺き換へをなし、新裝なしたる處に人目を惹けり、江景は昔時一葦帶水の全北黃山と相反目したる事あり、一葦帶水さは聊か仰山にて實に小河を隔ての喧嘩は久しき間柄なりしが、今日にては黃山又た忠南に編入せられて、昨日の敵は今日の兄弟となり、交通頻繁、臨川供給相助け、相計るは、洵に結構千萬にて、蝸牛角上の爭鬪は吾人の大に採らざる處なり、將に發展すべき殖民地に於てをや。

◎驛より江景に至る、十二間餘の大道路は、失敬ながら此の邊りにては勿體なき程にて、前務部長、今の慶北警務部長、服部大佐の計畫になるものなりと、市民は之れを服部道路と呼び居れり、永く其の有難さを記念する爲なるべし、午後三時江景色に入り、中西署長より具さに狀況を聞きて退出す、偶々同地には予と同鄕の友川村君のあるを思ひ、其寓同家を訪問す、賢ら年餘、今は土佐勸業會社江景支店長を務めつゝあり、夕陽既に落ちて暮色蒼然として來らんとする頃、川村君に案內せられて三南殖産會社精米所を見る、同所は林精米所と共に、湖南沿線に於ける二大精米所たればなり

○口惜しさに女

……を强姦せんとしたる事實あるより……ちて邸宅に至り突然同人に斬りつ……

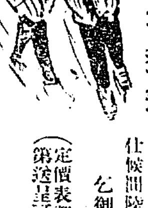
○奉天豫算紛議

……ては一切の行政に關し獨斷專行の權利を保有し……に中央各部の掣肘を許すと云ひ中央政府の懇旨に耳を傾けざる有樣なれば結局省側の主張を變更するの外なかるべ……

○黑龍支那移民

……哈爾賓間に東清鐵道と協議の上移民專用の車輛四臺を連結運轉し居れり……ざるに吉林省財政の缺陷を補ふ目的を以て今回之を拂下ぐる事となり永衡官帖局の持株十三萬元を一掛に……

小說 貸本業者講談物新小說大阪版東京版扱します三◯郵券◉目錄は小說專門川御安く一切揃ふて居ます◉照會は往復端書御問屋
大阪三休橋筋鰻谷南入 樋口隆文館



ウヰンスロー社製
アイス、スケート
新荷到着
仕候間陸續御用命乞
(定價表御申越次第送呈可仕候)
發賣元 美滿津商店
東京本鄉五丁目 電話下谷八〇五 振替東京一六七七

旬刊 東洋經濟
二月五日號
記事 ◉銀行預金貸出手元在高の膨脹調査 ◉戰後産業の振興(三) ◉船舶及鐵輸入稅の撤廢(ペ) ◉對支貿易の趨態 ◉英米に比較せる我が物價 ◉東京瓦斯の解剖(三) ◉株式利廻りの位置
社說 放資
定價一冊十六錢(税共) 半ケ年二圓六十錢
東京牛込天神町 東洋經濟新報社 振替口座二五八
六版出來◉株界唯一の活記錄 株界十年 定價一冊二錢 送料二錢 東京大阪兩市場上場株百卅餘十一年間每月高低相場等詳細

支店開業廣告
今回販路擴張の爲め左記へ支店を設け候間多少に不拘御注文の程奉願上候 敬白
△山下コークス(鑄物用、火造用、炊事用各種)
△ムラルペイント朝鮮一手販賣
東京特許ムラルペイントは最新式着色料にして「ペンキ」並に「シツクイ」の代用となる
京城南大門通五丁目一七
長崎山下コークス製造所京城支店 電話一三八番

▲見よ！時代要求の珍書出でたり 好評嘖々
醫學博士藤田三郎先生序 文學博士 先生序 ドクトル鈴木先生序
鴨田脩治著 產兒制限論 一名避妊の研究
五版 定價五十錢 小包八錢
◉少く產で多く教育せよとは本書の主張なり、今や避姙の研究は既に實行時代に入りて成績顯著也是れ世界の風靡せる生活難救濟の一大根本策一讀あれ

◉陸軍砲兵曹長與田條久登著◉郵券廿五錢で直ぐ送る
長身肥滿法 やせの低き人 やせたる人
◉本書によれば病後其他又は生れ付の人にても忽ち肉付强健となる不思議の妙法なり世間短軀又は痩瘠を悲嘆せる方は是非一讀あれ
◉發行所 東京本鄉九山福山町四番地 日本藥學協會

◉資本金壹百萬圓◉創業滿三年◉契約高貳十萬圓
八千代生命保險株式會社の特色
當社は金融唯一の確實なる非營利的組織にして最も進步したる相互株式の兩長所を具備し保險料亦他に比して頗る低廉なり然して其收入保險料の全部は是を永久內地各府縣農工銀行朝鮮各道農工銀行に預入し地方產業資金となすにあり
京城地町三丁目五番地(電話一一三番) 八千代生命保險株式會社 京城支社
京城明治町二丁目四六(電話二六一番) 京城代理店 唐川立造

最上醬油
京城本町三丁目
田中支店釀造 電話七六四番

[illegible]の犯罪に同[illegible]なるものが本年一月十四日夜及び昨十一月十日夜の二回侵入して同女[illegible]れたるが[illegible]一月二十日午前七時頃小刀を匿し持[illegible]の手[illegible]捕[illegible]れたり

[illegible]を異にし殊に自身が該省に莅むに於[illegible]豫算にて到底其責任を負ふに堪へ[illegible]生み出して之を補塡する方針なりと（奉天）

[illegible]は黑河方面にかけて上中[illegible]等に分ち價格極めて低廉なる上哈爾賓、齊[illegible]哈爾賓の支那街傅家甸に[illegible]營公司は從來官辦にして創立後十餘年を閲し經營困難と云ふ程にもあら[illegible]推想すべし（奉天）

●朝鮮を縱斷して一搏奉天へ

飛行將校の實地踏査談

去る十四日から我陸軍飛行隊の岡大尉澤田中尉伊庭中尉上中澤各中尉の六飛行將校は奉天を中心として耐寒大飛行を行ふ筈で岡、澤田、伊庭の三將校は機體を携へ海路大連に上陸し夫れ〳〵準備に取り掛り中澤、川上、坂本の三將校は陸路朝鮮を經、奉天に入る途次 岡山、廣島、馬關、釜山、大邱、京城、平壤、新義州、安東縣 等に於ける我陸地勢及び氣流當風向等の調査を行ふ爲めに一行は七日午前南大門驛に着いた、一行中の某飛行將校の談に

■大丈夫だ！　今度調査の結果地勢風向等から考へてこれでは釜山から直ちに奉天迄の飛行が能き得る事を確信しました、釜山に上陸した時は非常に風が強く山海の關係等から餘程面白からぬ氣流の情況だと考へましたが列車が漸次內陸に進入するに隨つて風力もさ程強からず氣流の關係等も頗る好調なるを認める事が能きた大邱に於ても調査を行つたが其の結果は內地よりも却つて風向の一定した向きなどは好適の地だと思つたそれのみならず釜山より進むに從つて洛東江流域一帶は到る處就らへ向きの著陸地を存して居る

■內地より良い　又流域沿岸のみならず到る處著陸に適當の土地が却つて內地よりも多い模樣である最も著陸地は巾十五六米突長さ八十米突位の平坦な土地があれば充分である釜山から飛行するとすれば大邱及び太田に著陸してガソリンの補充を行へば非常に樂であるが或は其の中間に一回著陸すれば濟むかも知れぬさうすれば釜山京城間を約六時間半位で達しられる事になる、下の關釜山間の飛行ですね、それは非常に必要な飛行路であつて餘り遠からぬ將來に於て關釜間の飛行は實行せられるに相違ない

■關釜海峽氣流　今回は此の關釜間の飛行に對する調査は具體的にしては居らないが勿論深い注意を拂つて視察だけはして來た何んでも門司の港を出發する際に汽船や陸上の煙突から吐き出す煤煙が風に煽られる具合を見ると或る者は東に或るものは西に又南に北に上に下に縱橫に吹き廻されて居る所を見るとあの邊の風向の甚だ好ましからざる現象を呈して居る事を知つた之れは山と海との向背關係からだと思つた又航海中海流に由つて風向に著しい變化の起つて居る事も大抵承知する事を得たのは非常に有益で有つた、併しながら今日の機械で直ちに關釜間を突破飛行を試みて見ろと云はれると一寸躊躇しないわけには行かね

■有事の日　しかし近い將來に於ては必ず關釜間の飛行は實行せられるに相違ない此の海上飛越が平氣で行はれる樣に爲れば萬一大陸有事の日に我飛行機隊は迅速に目的地點に集中する事が能きるのである將來の戰爭は飛行機の制先に由つて第一戰の輸贏は決せられるのであらう

▲大いに大陸に雄飛す　北は鐵嶺南は遼陽

今回奉天に於て擧行せらるゝ飛行演習は專ら▲耐寒試驗であつて（一）機械が何の程度まで寒さに堪へ得るか（二）カゾリンは從來零下二十五度位迄凍らないとされて居つたが果して然るや否や（三）搭乘者の耐寒質驗（四）搭乘者被服の質驗（五）大陸飛行偵察の質驗等である、飛行機は各七十五馬力のモーリスハルマン式複葉三臺百馬力のニユツポール式單葉飛行機一臺と豫備として發動機二臺を携帶して居る

▲地上の應援 にはモーター自轉車二臺を携帶して居る筈である飛行場は奉天停車場の東北廣場に於て行ひ此の地點を中央として東西南北に飛行を試みる筈であるがまだ其の行動は全く分らない併し北は鐵嶺南は遼陽位迄は飛行するであらうと考へて居る寒威凜烈の中に於て吾々がどの位まで之れに耐へ得て大陸に於ける偵察力の如何なるものであるかは今回

▲實地に試驗 せられるのである、兎に角飛行機の發達は將來戰術上に多大の影響を與へるに相違ない奉天大會戰に於て露軍に致命傷を與へた乃木迂廻軍なども若し露軍が飛行機を有つて居つたならば決してあれだけの成功は覺束なかつたであらうと思ふ搭乘の被服はまだよく分らぬが多分毛皮のチョッキにボックスの上衣だらうと考へて居る何にしても頗る濛々たる大陸で

▲縱橫無盡に 飛行するのであるから壯快な事には違ひないが大陸飛行は目標が少ないので却々困難な所も有る武藏野の飛行なども秩父、青梅、利根川、甲武の山々、東京灣などを目標にして居つても時々方角の違ふ遠くまで行く事などがある

●五千圓の損害賠償

五十三歲の老婦人の子宮癌切開

婦人病院—水原慈惠醫院—總督府醫院—廣島市病院の手を經たる患者—福岡大學高山博士の鑑定書—次回は證人として看護婦召喚

本籍廣島市當時京畿道水原郡梅山里居住森元俊之助の妻森元せつ（五三）は京城黃金町の赤尾辯護士を訴訟代理人として京城北米倉町の京城婦人病院長工藤武城氏を相手取り損害賠償金五千圓の請求訴訟を一昨年十月二十八日

■京城地方法院 に提起し是に對しドクトルは南米倉町の菅辯護士を代理人と定め既に原被兩告間に數回の辯論ありたるが原告の申立によれば原告は再昨年五月初旬腹部に疾患を生じたるより同年五月四日工藤ドクトルに診察を受け子宮癌と診定の結果同七日入院二十日切開手術を受け手術後容態に急變を來し一時危篤に瀕したるも後稍快癒するに至り七月二十日退院したるも尙全癒するに至らざるより更に水原慈惠醫院に至り治療を乞ひたるも別に變化なきより同十一月八日京城總督府醫院にて

■再度切開手術 を受けたりしが其際意外にも腹腔內に一個のガーゼ殘留し居りしを發見し次で一昨年一月二日には膀管瘻孔の上部に新患を生じ疾患部檢診の際更に一個のガーゼを發見し遂には兩便を陰部より漏洩するに至れり之を要するに右は第一回手術の際に被告醫師の粗漏過失より來らしめたるものなりとして右の訴訟を提起したるなりといふ但し原告人たるせつは其後廣島に立歸り同地にても二人の醫師に診察を乞ひ入院加療して漸く快癒するに至りたる由なるが右の訴訟に對し裁判所にては昨年春總督府醫院婦人科長藤井虎彥氏に要點七項を諮問して

■鑑定を依託し たるより同氏は約二箇月の日子を費やして充分研究したる結果其鑑定の要旨として ガーゼの殘留云々に就ては專門醫師として剖腹手術に際し現代の醫學の進步に伴ふ相當の注意の下に之を遂行するも尙腹腔內に綿紗の殘留する事は歐米の文獻に鑑みるも尙且つ又日本に於ても其實例あり且子宮癌腫手術は婦人科手術中の最難事にして長時間を要すると同時に使用する綿紗の如きも其數は普通の場合よりも頗る多く從つて

■綿紗數の計算 上稀れに誤謬なきを保し難し依つて工藤醫師の手術は如何に困難なりしかを推知せらるゝといふ意味の鑑定なり然るに裁判所にては尙ほ念の爲昨年十一月四日附を以て更に福岡醫科大學の博士高山正雄氏に鑑定を依囑したるに高山博士は昨年十一月四日より十二月二十七日迄五十四日間を費し充分研究を重ねたる上二十行罫紙に細文字を以て十八枚に亙る長文の鑑定書を作製したるその要旨に依れば其例を歐米の醫界より我國に於けるものに說き及ぼし更に醫師に對し右の如き損害賠償に關する訴訟事件の實例を引き全國有名なる醫界の諸博士の鑑定にも相當注意を拂ひて尙後に

■ガーゼの殘留 するは結局醫師の過失なりとは認め難しとある旨を說き又周到なる注意を以てする拭布等の腹腔內に氣付かずして殘留することあり要するに婦人科專門の開業醫が子宮癌腫治療の方法として開腹手術を爲すに方り相當の注意を用ゆるも尙腹腔內に一二の『ガーゼ』を殘留することを免れざるものとすとありたるが事件は漸次進行し昨二月七日も開廷し午前中

■原被兩辯護士 間に於て辯論あり結局『相當の注意云々』につき工藤醫師開腹手術の際附添ひゐたる看護婦を證人として喚問のことに決し閉廷したるが次回開廷日は未定也

●仁川棧橋附近に篝火

仁川府廳にては今八日は恰かも日露の開戰に先立ちて木越旅團長が仁川港に上陸せし記念日に相當するを以て同夜仁川稅關內荷揚棧橋附近に數千斤の篝火を焚き當夜の狀を偲ぶと

□花このごろ（二）　プリムラ、シネンシス

いとけなく初々しけれ此花は、夕月に似る白き此花

●散彈鮮童五名を傷く

廣島縣宮島大西町當時忠北槐山郡延豐面三豐里居住の大工大島福松（五三）は一月三十日午後三時頃同郡延豐面杏村里の金濟仁方の外庭に於て裝彈したる獵銃を地上に置き紐の解けたる草鞋を締め直して置きたる銃を採らんとしたるに誤つて落ちたる機みに發彈するに至り折柄前方に居合せたる杏村里の許小龍（九）同金培福（九）同池石龍（一二）同金五福（九）同金桂寶（七）の五名の鮮童等に散彈命中し內許小龍金桂寶の二名は遂に死亡するに至り他の被害者も重輕傷にて目下加療中なるが原因其他につきては取調中なり

◎觀世流謠曲春季大會

京城觀世流各派（觀世支部を除く）の連合春季大會は六日午前十時から壽町有明樓に開かれた定刻滿場と言ふ盛況で加藤、山本氏の高砂に目出度く開會竹村、成田氏等の八島何れも無事佐山、岩崎、淸水、金田氏の花筐も結構で特に此派の地揃ふのは氣持が好かつた柴田田沼兩氏の安宅勸進帳は呼物であつたが少く低音で聞き取れなかつた千勝柴田兩氏の景淸シテの莊重に努めたは好かつたが何となく氣魄に乏しく此派の地の揃はぬのは缺點である、三田井上宮井氏の千手先づ當日の出來であらうが重衡の力に不足な感じがした野田有田武末氏の芦苅尙ほ老熟とは言へぬが少壯な丈け前途有望であらう熊坂の地謠は如何であらふか、此日中川兩氏の仕舞共に結構であつた安住氏等の藤戶抔がお流れとなつたは聊か失望であつた、兎に角此會も形式に止まらず研究的に益々發達せんことを希望する（一記者評）

◎現金強奪犯逮捕

一月二十七日黃金町三丁目金子質屋の店員より現金及び質札を強奪し直ちに龍山に於て本町署の刑事に取押へられたる本籍廣島縣安藝郡向島村當時龍山漢江通一丁目立山某方居鐵力職川上利夫（三十）は其後本町署に於て取調べの上檢事局に送られたり

朝鮮短歌會規

▲會場　パゴダ公園內カフエー、パゴダ
▲開會　十一日紀元節當日午前十時
▲會費　金五十錢（午餐其他）當日持參
▲出席　希望者は投稿同樣九日正午迄に社內幹事宛通告の事
▲投稿　九日正午締切、京城日報編輯局內朝鮮短歌會幹事宛一人五首限り金十錢（印刷費及び缺席者郵送費）添付の事 切手代用は二錢切手に限る
▲順序　席上五題、發表の上午後は批評乃至意見吐露午後四時閉會
▲晚餐　會後有志のみにて晚餐會を催す（會費壹圓內外）

◎外套を盜む

福井縣生れ龍山漢江通居下川鳥治（三）は昨年七月中旬頃雇主のオーバーコート一枚三十圓を竊取し之を六圓に入質し費消したることを龍山分隊に探知せられて此程取押へられたり

◎靴一足を竊取す

京城安國洞李德三（三）は一月二十七日午後十時頃京城旭町二丁目の某保險會社支店より靴一足（七圓）を竊取し本町署にて取調へらる

◎訂正　昨紙朝鮮一中平北第一部長を三田善喜氏とせしは秦秀作氏の誤

朝鮮一　各道第一部長は語つて曰く（五）

牛、麻布、明太魚、景氣　咸鏡北道第一部長 三田善喜氏談

豆滿江と云ふ大河を隔てゝ露領、支那領と國境を接して居るのみか虎の棲むてふ白頭山さては淸津、城津の兩港さへ控へて居る、と云つて是が吾道の誇りぢや案よりない、先今も良し將來も亦有望なのは牛だ道では十年を期し一戶二頭平均の割合で獎勵して居るが今の所は十萬頭位に過ぎぬ併し無限の需要地たる露領又は支那領と接して居るのは天賦の恩惠と云ふ可きものだらう之れに次ぐは農家の婦人の副業として好適した麻布の製織である、海岸線の長いお蔭で水產物が多い就中明太魚と鰯とは其尤なるものだ咸北の生產物は以上の通りとして此際云はせて貰ひたい一事がある、それは往年の大水害で苦しめられた吾道が昨年來俄かに景氣づいて來たと云ふこした其一例を擧げて見ると殆んど廢坑に近かつた城津の黑鉛鑛が復活して毎日五百人からの朝鮮工夫が使用され淸會線茂山嶺のトンネル工事にも二千人からの朝鮮人夫が使はれて居ると云ふ譯で下層の勞働者には那々金廻りがよくなつて來た其內解氷期にもなれば羅南邊の兵營工事も始まり少なくも六七千の人が入り込んで來る筈だから是れも亦可成大きな金が其地方に落ちるに違ひない、あれやこれやの出來事で襲の水害から蒙つた損失は最早恢復されて終つたと云つてよい位で大に喜んで居る次第である

陸地棉、叺　忠淸北道第一部長 齋藤禮三氏談

陸地棉の作付を極力奬勵した結果大正四年には作付反別四百八十七町作付人は四千百五十三人此收穫棉數量四十一萬三千六百八十五斤を得た四十一年より昨年迄の八年間に於て面積は百三十倍、收量に於ては實に二百四十倍に達したが何んと驚かざるを得ないぢやないか、何んと云つたつて施政五年の間に產業の發達したことは非常なもので到底統計表位を見た計りぢや駄目だ地方の田舍に來て見給へ吃驚するから吾輩の道でも永洞、沃川、淸洲邊では盛んに叺の製造を行つて居るが昨年八千枚以上の產出があつて大部分他道に移出された其主產地である沃川郡では叺製造奬勵に盡力した某と云ふ老人が死んだ際に附近の鮮人は募金して盛んな葬儀を營んだことがある鮮人としては從來ないことで此樣にして段々改良發達して行く有樣を見ると直接其奬勵の局に當つて居る者も嬉しいに違ひない、何、投[illegible]と話せつて僕は一體自分の名前を出したりするのが嫌だからこれ位にして置かう

京日案內

◎普通　一回前金三十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増

◎得意廻り店員入用　年齡廿歲以上廿五歲迄　◎京城大平通二丁目　遠藤味噌醬油店　311

◎看護婦及見習生募集　希望者は本人來談を乞ふ　仁川　仁川畑病院　333

◎看護婦募集　希望者は履歷書携帶本人來談あれ　仁川　小倉病院　320

◎古本品拂底に付無比高價買入御一報次第即刻參上　電話二七八一番へ　▲京城本町四丁目　書肆群書堂　315

◎讓店　場所本町三丁目の目拔の通り希望者至急來談　◎京城黃金町三丁目（櫻井町曲り角）　平野古物店　316

◎古本買入誠實御報參上　京城本町一丁目（明治町筋）　電話二六三六番へ　野村書店　319

◎番外　一回前金六十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増

京城春川間自働車　乘合 賃金 片道四圓　京城發午前七時　春川發午後二時　◎京城明治町一八四六　取次 支配人　京春自働車商會　松田壽男　343

無代　ハガキで申込あれ朝顏大菊花栽培法送呈す　種子望の方は郵券金拾錢　新大花混合百餘種入呈す　長野縣下高井郡延德村　大隅朝顏園　342

◎賣却湯屋　市內目拔の場所主人內地へ引上都合に依り至急賣却致度し希望者來談あれ　▲京城黃金町一丁目　電話壹八四五番　秋山那太郎　339

公證人　山邊勇輔　京城永樂町二丁目十七番地　電話二八四〇番　340

小包荷造並に空箱賣買（京城競賣向ひ）　箱製造　京城本町二の二　電話二八〇一番　長谷川箱製所　334

はぬつき　うちみ　くじき　治療　◎電話二千五百九十五番◎　明治町交番より東　フランス教會前　荒川仁壽堂　336

內科 小兒科　大和町一丁目（日の出橋下る）　爲春堂醫院　院主 古城倒吉　（電話九二八番）　335

結核 瘰癧の注射療法　古賀液（入院隨意）　京城南山町二丁目　電話六七五番　松岡醫院　261

恩給 年金　無保險低利長期立換　不便な地方在住者上京に及ばず便法あり其他擔保信用貸仕候　○京城南大門外御成町　山口屋　338

和洋御料理 并精進料理　京城本町一丁目府廳橫（元楠跡）　壽司仕出し　のんき　電話二四九五番　◎御中付次第速達仕候　▲材料精撰　279

夜學生募集　（英漢數）教師は中等教員免許狀所有　數術。代數。幾何。三角術　英漢數教授所　明治町二丁目　小川旅館內　331

恩給 年金退隱料長期立替多少　短期は法定利息以內にて無手數立替　○京城永樂町一丁目商品陳列館前　江州屋本店　337

恩給年金類立替　▲勸業貯蓄債券月賦販賣即金買入　京城本町二丁目五三　京城銀行橫小路入　吉田屋　322

京城日報　初號より四十三年末迄取揃へ相當代價にて讓受たし　（住所姓名在社）

京城學校組合告示第一號

京城學校組合區域內ニ居住スル內地人兒童ニシテ明治四十二年（己酉）四月二日ヨリ同四十三年（庚戌）四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヲ以テ就學ノ始期ニ達スルニヨリ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戶籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十九日限リ京城學校組合又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ

大正五年一月十日

朝鮮總督府府尹　金谷充

種苗　目錄申込次第進呈
▲朝鮮の農家は寒地なる弊園の種子を用ゐよ
▲寒地の種子は早熟强健豐產なる大特色
▲弊園は世界に於ける各種の最新種を育成す
弘前市取上　北日本農園　振替東京二〇三六九

模範純粹培養　牛乳　ヨーグルト
極上獸醫肥塚正太
京城黃金町四　京城牧場

滿蒙處分論　京城日報代理部

新刊書御案內

書名	著者	價
日本歷史通覽	高桑駒吉	[illegible]
明治文明史	小林鶯里	[illegible]
改訂倉庫論	小林行昌	[illegible]
肥料的麥作改良法	鈴木[illegible]	[illegible]
家庭衞生治療と調劑	河合[illegible]	[illegible]
電線製造法	田中米一郎	[illegible]
敎育の革敎	稻毛詛風	[illegible]
佛語時の用法	ジュブスケ	六〇
我が書翰	五十嵐力	六〇
英文書翰集	駒井華南	九〇
現代美文選集	桑田春風	六〇
朝鮮の金鑛	野田長作	[illegible]
新式初學作詩法	平井[illegible]	七〇
安心録	南條文雄	七〇
宇宙（縮刷）	三宅雄二郎	一、五〇
從軍三年小敵大敵	瀧川[illegible]	一、三〇
禪心録	近重眞澄	一、〇〇
新譯西國立志編	栗原古城	一、二〇
日蓮	村上浪六	一、七〇
野心論	澤柳政太郎	一、二〇

京城本町[illegible]　大阪屋號書店

外科 皮膚科　瀨戶醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士　瀨戶潔
（電話二四九八番）
診察夜九時まで

千生瓢 (119)

須藤南翠作　筒井年峰畫

忠烈(六)

甘身の濫觴を責め立てられて、小川土佐守は赫と焦き立つた。

「言ふな、勝家、其處退くまいぞ。汝がしやツ首、打つてくれるわ」と、夢中になつて進み入る。

「討たすな、進め」と七百餘人、勝家が地に馳せ向ひ、手を揃うて無闇力戰、揉み立て／＼進み來る。

毛受兄弟は、素より命を鴻毛よりも輕じ、義を泰山よりも重んじて、一生一期の思ひ出での血戰である。相從ふ勢共も、一死決して半生をだも望まざる、今を最期の一戰である。五百餘人と註せられしも、今は僅に三百餘騎と討ちなされたが、少しも怯む心はなく、一友の討たるゝ毎に復讐の氣概熾んに、斃るゝ死骸を躍り踰え、踏ん込み／＼切り結ぶ。死奮の勢ひ當り難く、言ひ甲斐なくも小川土佐守、敵し難ねて逃げ出だせば、勢も次第に切り捲られて、五六町が程を追ひ崩された。

毛受兄弟は、如何にもして、筑前守の旗下へ切り入り、彼處に於て最期の勇戰を試みようと、脇目も振らず進み行くを、さはさせじと押隔てたは丹羽五郎左衛門尉が大軍であつた。丹羽は柴田の勢の、餘りに小勢に討ちなされたのを見て、世に怖れらるゝ鬼柴田とて、斯く亂軍に奮鬪しては、老體も疲勞嘸かしであらう。これを討ち取るは易くとも、何となく興が薄い。生捕つて筑前守に渡すに於ては、秀吉其功に愛でゝ、よも粗略には扱ふまいと考へた。仍て毛受が三百餘騎を照と開いて、中に取り圍み、引包んで攻め立つた。

毛受兄弟少しも騒がず、三百餘騎を前後左右に備へさせ、八方微塵と戰うたので、流石に丹羽が大軍も、容易は進みかね、逡にぢり／＼と後退きて、遠巻に衛つてゐた。

此時毛受兄弟は、木の根に腰をうち掛けて、對手を開いて悠々と兵粮を行ひ、また兵共に行はせて、少時息を入れた上、やがて又立上り、蜘手かく繩十文字に駈け破り、押破つて進む程に、丹羽が大軍もその小勢を如何んともするよしなく、思はず開いて通したのである。

其と見るより、丹羽が二軍の物頭、江口三郎左衛門、溝口金右衛門、村上次郎左衛門を始めとして一千餘騎の大勢、入り替つて馳せ寄つた。勝家の助勢は討ち殘された侍共を勵して、此新手に討つてかゝる。兄久左衛門尉照景も、同じく殘卒引具して、而も必ず勇戰す。毛受が人數孰れも敵を選ばず、戰ふ程に、此處にまたまた討たるゝ者少からず、槍は突き折り、刀は鋸となりゐるが、聊かも怯む色なく、此處に現はれ、彼處に隱れ、手痛くも戰ふのであつた。

此中に毛受久左衛門尉照景は、丹羽が二軍の物頭村上次郎左衛門と槍を合ひ、人交せもせず突き合うた。村上は新手にて英氣殆ど當り難きに、照景は先刻よりの奮戰に、三陣まで破り來たつた逸者である。いつ勝敗の決すべしとも見えなかつたが、照景は流石に疲れてゐる。烈しく突つ込む村上が槍を、請け損じて高腿をしたゝかに突かれた。この重傷にも屈せずして、猶も槍を合はさうとする時に、脚壁へてバタリと倒れた。村上透さず跨がつて、其の首を打ち落し、引返さうとする處に、勝助如く、それと見て、獅子王の暴れたる如く、目前の兄の讐、逃しはせじと馳せ向ふ。五十餘人の兵共も、家照と一つになつて、勢ひ猛に打ちかかるに、村上は揉み立てられて、疲るゝこと一方ならず、引つ外して、き退く。江口、溝口入り代つて、我れ討ち取らんと競ひ寄る。

勝助味方を顧みれば、皆敵中に討死にして、殘るは僅に十三人、其ら身に大小の手を負はぬはなく、兜は振り落し、具足は引き斷れ、總身朱に染みて、死相を帶ばぬ者はない。されど、心は金鐵の如く、枯木の如き手に太刀を取り、一歩も退かじと奮戰し、踏ん込み／＼進む程に、丹羽が二陣も切り崩された。

募集短文

病室

仁川　瀧村紅路

靜かな眠りからふと眼を覺ますと看護婦はそばに立つて體溫器を振つてゐた。そしてそれを私にあてがつて出て行つた。

ほかの病室も皆な寢てしまつてゐるやうに寂まりかへつて折々遠くの病室でゴホンゴホンと云ふ咽喉の鳴る音がまだきこえて來る他には時計の針の進む小さな強よい響きとあいまいまに吹いて來る風の遠鳴りよりほかに何にもなかつた。

不意に何處かの戸が開て廊下をスリツパで擦るきしりがすると、やがて室の戸がそつと開いた。そして看護婦が這入つて來て體溫器を私の手からとつて視た。サツクの中に納まふとやせた細い手首にそつと手を觸れて脈をとつた。そして體溫表に赤と青の鉛筆で脈と體溫を記した。

×　×　×　×　×

赤い范昭にコバルト色のカバアがそつとかけられると急に室の中はうす暗い光に満たされた。すると十九日の月は青い光を桃色のカアテンのすきまを通して流れて來た。月光の細い流れは枕邊のテーブルの上に並べてある藥瓶に流れてミルク色の藥の中に溶けこんでいつて神秘的に色彩つた。病室は次第に寂まつて行つて咳の音もしなくなつたそして只だけ折々に聞こえてゐた。

肺病の全治と奇薬

東京順天堂院長安原先生は自己が恐ろしい肺病に罹り有ゆる藥劑を以て色々の治療して見ても更に効がないので悲嘆の中に月日を送られつゝありしが氏は如何にしても此大病を根本より治癒さう又治るとの信念を以て極力治療し又氏の實弟等專門醫の助けもあり苦心の末發見せられた不思議の特効藥ウニコールの奇効と自己獨特の療法に依り一時は迚も治らんと思つた難病も遂に全快せられてより世の同病者に同情を頒ちたいと決心せられ夫から後と云ふものは同病者と聞くごとに其藥ウニコールを勸め多くの人に服用せしに今日迄に全治輕快した人の感謝狀は既に幾千人だか分らんとの事である此の上氏の希望は世間廣く津々浦々に至るまで不幸にして此病氣で煩悶して居れる患者に自分の全快した方法に知らせ其悦びを頒ちたいとの事であるから同病者は彼是と多くの療法に迷はず直に東京日本橋區呉服町順天堂藥院長先ハガキにて申込み肺病の治る左記大著冊を有力なる全治證據を添附を受けられたら非常の御參考にならうと思ひ升……

○肺病患者寶典（院長全快談）

○營養療法　○氣候療法　○空氣療法　○精神療法　○發熱盗汗　○喀痰咳嗽　○略血不眠　○呼吸困難　○下痢候頭痛　（ウニコールとツベルクリン）

無代進呈

東京帝國大學　醫學博士　久我徳位　士方正二位　御園字　醫學士　多輪　木本　見玉　ドクトル

因に此特効藥は名高き大學の醫學者海輪先生、醫學士本多先生、ドクトル、軍醫正等多くの諸大家が肺病の藥劑として實際其効力の卓絶なるはウニコールであると確認稱讃せられたとのことは東京大阪の各大新聞及全國各地の新聞に報告せられし通りである……

商況

大阪三品

▲七日後場 [illegible]

▲七日 [illegible] 入電當地當九圓九十錢中十一圓十八錢より二十一錢と凶し二十錢引先十一圓〇九錢と五錢安に寄付たるが大阪三品四十四錢と高掲りに賣物頻 [illegible]

▲重なる商內　後場に於ける重なる商內は買方㊁二千百石㊂千九百石㊄千六百石㊅千石㊈千四百石等にて買方㊀三千三百石㊁三 [illegible] 百石であつた [illegible]

二十一錢 [illegible] 平均値段二十錢 [illegible] 十九 [illegible] 二十 [illegible] 石 △先限㊀ [illegible] 三錢㊀十五錢六錢五錢四錢三錢㊁十二錢 [illegible] 二錢一錢十錢一錢十錢㊀十錢一錢十錢 [illegible]

出來高		一萬千石
一節		十一圓十一錢
二節		十一圓十五錢
三節		十一圓十二錢
平均値段		十一圓十一錢

群山稅關支署調査に係る一月中に於ける輸移出入重要品價格表を見るに輸移出品にあつては一月に入り米價 [illegible] 總高金六十六萬三千五百三十八圓なり ……一圓大豆三萬一千四百三十六圓 ……七千百零六圓其他合計輸移出品價額 ……四千六百九十一圓小包郵便八千八百 ……十六圓果實及び核子八千五百四十 [illegible]

兩京去留誌

簡淨疎宕なる山川人物の描寫　明快透徹なる朝鮮側面の觀察

蘇峰學人著

平福百穂、山下鈞、鶴田樸村、柳田謙吉、前川千帆（五氏畫）

本書は著者が朝鮮併合（明治四十三年九月）より今年夏に至る迄、五箇年に亘り屢ゝ東京、京城間往來の際に成りたる文章を收輯したるものなり。著者の兩京間を往來するや其の幾回なるかを知らず。而も其の往來毎に感興愈ゝ新鮮にして、其の秀警の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字眞情流露し、而も簡淨疎宕小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の碩儒金允植子の人物と文藻を解剖して剩す所なく、『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して萬丈の光焰を揚ぐ。加之、平福百穂氏を初め諸畫伯の繪畫は皆實境に臨んで描く所に係り、啱々眞に逼るの妙あり。其他各地の風景、名流の筆蹟等悉く本書の爲に特に撮影し、若しくは著者の爲に特に揮毫せられたるものにして、凡て三十二葉の多きに上り、製版印刷倶に異曲同巧の出來榮を呈し、著者の文章と對照して興味津々たり。裝釘は總クロース上製となし、表紙に朝鮮の古甎を打出し、表題は金文字を以て唐太宗帝書の古拓本より抽出したるものを用ふ。體裁淸雅高尚にして眞に几上の淸賞に堪へたり。今や節新秋に入りて燈火親む可し、請ふ幸ひに愛讀を賜へ。

記事內容一斑

◎沿道所見　新橋より京城（一…七）◎短信三片　途中送迎の諸友▲朝鮮晴の好天氣▲今朝鮮色滿南山◎朝鮮各地の視察◎秋晴一百五十里　先驅の一韓化▲六甲山服の理想郷▲凰樂荷ほ背し▲奈良一日の淸遊▲京城愛吾廬より▲京戸相衣辭▲北漢山に上るの記（一…三）▲石坡亭の雅會▲深秋の總督邸▲湖南線一部開通▲京元線の試乘◎一路寒風吹鬢霜　愛吾廬より台上▲踏路馬關より▲山陽道中▲京都より◎一年兩度の櫻花　殘春入洛▲嵐峽直行▲連絡船中より▲釜山より京城▲一夕雨度の櫻花▲總督官邸の紙筒▲雨中の大運動會▲內地化したる京城▲汽車中の立退め▲一年の好季節　母校と東山▲桃山御陵▲拜觀▲第一行と閑適▲消凉里に遊ぶ▲昌徳宮の秋色▲龍山總園の砲撃▲正卯閑の鐵書▲海峽航行中より◎愛吾廬雜信◎防人訪書の旅行　最上の小春日和▲仁王山と相對▲仁川沙魚釣の記▲書幌學の大家▲十三日夜の總督邸▲無盡堂先生と閑話▲氏の秋氣▲漸巷君の秋氣▲佛國寺の秋氣▲部々帝家の說▲京城に於ける天長節▲仁王山一雨の一日▲急行的觀光▲明城に遊ぶの記▲山陽道中の紅葉▲六甲山より京都▲防人日記▲漢江の魚と人◎双京幾往還　關釜連絡▲大原▲比叡▲宮島より京城▲武昌山の聖の一日◎往來二千日　炎妹大阪▲比叡の保者▲宮島より京城▲武昌山十日▲奉天の京城▲法よりも人▲閑中の苦役▲實踐實行の時▲高麗板大藏經▲往來二千日▲鹿鳴館風吟　◎愛吾盧記（子爵宗丸瀬記）◎雲養集を讀む（一…六）◎朝鮮統治の要義（一…十）合計十五篇　一百三章二百七十四頁

繪畫寫眞目次

◎海峽航行中の著者（三色版）◎在慶州新羅武烈大王陵碑龜趺（寫眞版）◎北漢山（タンク版）◎洗劍亭（タンク版）◎漢江（タンク版）◎子爵尹德榮氏別墅碧樹山莊より南山を望む（三色版）◎愛吾廬に於ける冷淡の生活（寫眞版）◎愛吾廬より仁王山を望む（三色版）◎淸凉里（木版）◎昌德宮秘苑（木版）◎山縣總監の自書自贊（寫眞版）◎朝鮮街（木版）◎明石中將の自書自贊（寫眞版）◎鮮人の天長節（タンク版）京城獨立門畔城壁上の大銀杏樹（寫眞版）◎獨立門外廢寺の五輪塔と著者（寫眞版）◎諸名流筆蹟（寫眞版）◎鮮人の家屋（寫眞版）◎鮮婦洗紗（タンク版）◎野田大塊翁の自書自贊（寫眞版）◎鮮人の船（寫眞版）◎麻浦（タンク版）◎太華亭（タンク版）◎愛吾廬同人庭前の小集（寫眞版）◎子爵金允植氏の德富氏送序の筆蹟（寫眞版）◎故伊藤公自筆南山脚下の詩（寫眞版）◎朝鮮總督官邸に於ける寺內伯（寫眞版）◎寺內伯書和歌（寫眞版）◎故伊藤公南山脚下の詩及び跋語（寫眞版）◎寺內伯書鴨綠江鐵橋落成の詩（寫眞版）◎寺內伯書早發の詩（寫眞版）◎寺內伯書慶州懷古及び乙卯誕辰の詩（寫眞版）合計三十二種

總クロース上製函入　定價金壹圓五拾錢

大取次所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

山東原鹽　關東鹽再製　青島各種粉碎　販賣　鹽販賣所　仁川濱町八　電話二四〇

優等淸酒　一鶴　京城本町二丁目電話六五四番　本莊酒店

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て最も低價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に可應候　京城日報社寫眞製版部

登錄商標　瓢水味淋　堺 森鳴釀

專賣店　京城本町二丁目　前田酒店

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽行　淡路丸　二月十八日　正午出帆　相模丸　三月三日　正午出帆　高砂丸　三月十二日　正午出帆
仁川港町一丁目　電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航所風航路（遠洋航路を除く）門司連絡御頭網の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行　大智丸　二月十五日　午後五時出帆　吉辰丸　二月九日　午後出帆　平壤丸　二月十二日　午後出帆
○木浦、釜山、長崎行▲は濟州島（山地）に寄港　安東丸　二月十七日　午後二時出帆　城津丸　二月
×○大連行　大佑丸　二月　天津丸　二月十三日　正午出帆　城　二月廿日
◎木浦、關門、神戶、大阪行　溫州丸　二月　日　後五時出帆
○群山、釜山、横濱行　チヨイサン丸　二月十日　午後四時出帆　漳州丸　二月十九日
△○大連直行　漳州丸　二月十四日　チヨイサン丸　二月廿六日　正午出帆
○清津、浦潮行（元山出帆）
○地臺北　久丸　二月八日　午後二時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　平九　二月十五日　午前十時出帆　高丸　二月十七日
御注意　○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候　○旅客は本船出帆約一時間前無賃客　○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川代理店　大阪商船會社仁川支店　電話二〇番五五〇
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七〇八番
中國西國沿岸各港行船客に對し當分の間門司より連絡乘船切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆
金剛丸　二月十二日　京畿丸　二月廿二日　黃海丸　二月十六日　咸鏡丸　二月廿六日　釜山發　門司より各港寄港
穩城丸　二月十三日　昌平丸　二月十一日　鏡城丸　二月十七日　元山より各港經由雄基行　元山發
永興丸　毎月廿八回　北久味五里浦行　元山發
盛德丸　二月十四日　甘浦、九龍浦、浦項各港寄港　釜山發
江陵丸　義陽丸　毎日　（釜山浦項）發
三浦丸　二月　八日　長承浦、鎭水、巨文島、濟州島各港寄港　釜山發
海州丸　巨濟丸　慶興丸　毎日　釜山發　統營丸　慶興丸　（三日目一回木浦行）
順天丸　三日目毎　各港經由麗水行麗水より釜山行に接續　木浦發
慶興丸　二月十二日　各港經由濟州島行（西廻）　木浦發
公州丸　二月十一日　各港經由濟州島行（東廻）　木浦發
公州丸　二月十五日　南多島海列島行（月三回）　木浦發
金州丸　二月十九日　海州他各港經由、鎭南浦又は白翎島行　仁川發
江原丸　二月十五日　芝罘、大連、靑島行　仁川發
麗水丸　晋州丸　二月十二日　各港經由木浦行　仁川發
錦江丸　南陽丸　毎日午前　仁川發
平安丸　江華島、喬桐島、海州行　二月十三日　群山發
恒濟丸　大黑山、木浦、門司、若松行　二月十七日　若松發
京城府南大門驛前　京城荷客取次店　松原運送店　電話長二七七　本社　電話長一九五、二三一

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行　秀吉丸　二月九日　午後四時出帆　大有丸　二月十二日　午後四時出帆　神代丸　二月十五日　午後四時出帆　駿龍丸　二月　日　午後四時出帆　若が代丸
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行　立神丸　二月　八日　後五時出帆
○元山淸津浦潮行　立神丸　二月十七日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　小倉丸　二月十五日　後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　二月　日　後十時出帆
○第三環平丸　元山、西湖、新浦、城津、淸津行　二月十九日後六時出帆
○第三環平丸　門司、宇品、神戶、大阪行　二月十　日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　大眞丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆　廿一日廿六日
大池回漕部

共同汽船仁川出帆
阿波國共同汽船株式會社
第一共同丸　芝罘、大連行　二月　日　二月八日　後二時入港　前九時出帆
朝鮮總督府命令航路　仁川芝罘大連直行　旅客運賃は割引、荷客取扱仕候
共同丸　淸津、浦鹽行（元山出帆）
第一兩鶴丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行　月　日　後九時入港
第三共同丸（元山出帆）　月　日　前八時出帆
仁川代理店　山下回漕部　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店